

箕面市立病院

設備管理業務仕様書

箕面市立病院

1. 目的

この業務は、基本仕様書に定める目的を達成し、対象施設において、安全、快適な環境を維持し、かつ経済的な施設管理を行うことを目的とする。

具体的には、建築物及び建築設備（以下「建築物等」という。）の運転、監視、日常・定期点検、保守、整備等の各業務を統括的な管理の下で実施し、各々の業務から得られるデータを分析のうえフィードバックして効率的、合理的に業務を遂行し、建築物等の機能を信頼性、安全性を高度な水準で維持管理するものである。

2. 対象施設の概要

2-1 対象施設

- 1) 箕面市立病院（リハビリテーション棟、附属棟を含む）
- 2) 医師住宅

2-2 施設概要

詳細は、別添①「施設一覧」及び別添②「設備概要」のとおり。

3. 業務内容

3-1 業務内容

- 1) 建築物等の運転、監視、日常・定期点検、保守、整備等の業務
- 2) 執務環境測定業務
- 3) 自家用電気工作物保安業務
- 4) エネルギー管理業務
- 5) 上記の他、施設維持管理業務全般

4. 一般事項

4-1 業務関係者の配置基準

- 1) 常駐最低配置人員は以下のとおり（統括責任者及び交代要員は含まず）とし、その他については業務計画に基づき、維持管理業務の遂行に必要な人員を配置する。

① 平日（休日以外）

9時～17時：5名（1名は業務責任者）

17時～翌9時：3名（1名は業務主任者）

② 休日

9時～翌9時：3名（1名は業務主任者）

* 休日とは土・日・祝祭日・休日・年末年始（12月29日～1月3日）の外来休診日をいう。以下同様とする。

- 2) 受注者は、法令に定められている資格者及び施設管理者が指定する資格者を配置すること。なお、受注者として必要な業務関係者（予備人員含む）の

保持資格及び人数は次のとおり。

① 法令に定められているもの

- a. 第三種以上の電気主任技術者（２名以上）
- b. 一級以上のボイラー技士（２名以上）
- c. 第二種以上の冷凍機械責任者（２名以上）
- d. エネルギー管理士免状を有している者、又は、エネルギー管理員講習を修了した者（１名以上）
- e. CE受入側保安責任者講習修了者、又は、液化酸素の製造、消費に関し１年以上の経験を有する者

② 施設管理者が指定するもの

- a. 乙種第４類もしくは丙種以上の危険物取扱者（１名以上）
- b. 自衛消防業務講習修了者（全員）

③ 有資格者が望ましいもの

上記に示すほか、電気工事士、ボイラー技士、ボイラー整備士、建築物環境衛生管理技術者、消防設備士、消防設備点検資格者、高圧ガス第一種販売主任者等

３）業務関係者は、業務遂行上必要な場合の他は、地階中央監視室に待機して各設備の運転状況及び防災監視盤の監視等、必要な業務を行う。

４）業務関係者は、複合施設等の維持管理業務を行ううえで必要な場合、緊急を要する場合は、箕面市立総合保健福祉センター、箕面市立医療保健センターに赴いて業務応援をすることができる。

なお、業務応援を行った場合は、日時、施設名、対応内容等を業務日報に記録し、施設管理者に報告すること。

４－２ 業務関係者の資格等

１）業務責任者

第三種以上の電気主任技術者、一級以上のボイラー技士、第二種以上の冷凍保安責任者のいずれかの資格を有し、病院における設備管理の経験が１５年以上で、かつ５年以上の責任者の経験を持ち、統括責任者を補佐すると共に、設備管理業務に従事するすべての者を管理、監督できる者。

２）業務主任者

法令に定められているいずれかの資格を有し、病院における設備管理の経験が５年以上で、業務責任者を補佐し、業務担当者を統括できる者。

３）業務担当者

維持管理業務に対応できる資格保持者もしくは、設備管理の経験者で施設管理者が認めた者。

４－３ 法定技術責任者の選任

1) 法定技術責任者については、業務責任者及び業務主任者のうち保持資格及び法定経験を有する者から、施設管理者及び受注者の協議の上で選任する。なお、選任が必要な法定技術責任者は次のとおり。

- ① 電気主任技術者及び代務者〔第三種以上の電気主任技術者〕
- ② ボイラー取扱作業主任者（第一種圧力容器取扱作業主任者兼務）〔一級以上のボイラー技士〕
- ③ 冷凍保安責任者及び代理者〔第二種以上の冷凍機械責任者〕
- ④ 保安責任者（ＣＥ設備）〔ＣＥ受入側保安責任者講習修了者他〕
- ⑤ エネルギー管理員〔エネルギー管理士又はエネルギー管理員講習修了者〕

* 〔 〕内は必要な保持資格等

2) 法定技術責任者は、施設管理者と協議のうえ、関係法令に基づき対象施設の工事・維持及び運用に関する保安の監督等の業務を行うこと。ただし、緊急の場合については、当該法定技術責任者が臨機の措置をとり、事後速やかに施設管理者に報告すること。

4－4 関係各官庁への申請

電気主任技術者等、選任に伴い関係各官庁へ届け出が必要となるものについては、受注者が申請業務の代行を行うこと。

4－5 施設情報の把握

基本仕様書の6－1「業務計画書」及び6－2「作業計画書」の作成、並びに、業務の実施は、次の事項を十分把握して行うものとする。

- 1) 対象施設の運営に関すること。
- 2) 設備機器の設置年及び運転時間に関すること。
- 3) 対象施設における行事に関すること。

4－6 建築設備等の運転・監視

建築設備等の運転・監視の範囲は次によるほか、「5. 運転・監視及び日常点検」による。なお、医師住宅においても該当各項目に準ずる。

- ① 設備機器の起動・停止の操作
- ② 設備運転状況の監視又は計測・記録
- ③ 室内温湿度管理と最適化のための機器の制御、設定値調整（温湿度及び空調機の設定値については毎日記録すること）
- ④ エネルギー使用の合理化
- ⑤ 季節運転切替え、本予備機運転切替え
- ⑥ 運転時間に基づく設備計画保全の把握
- ⑦ ①から⑥に基づく設備機器等の運転・監視マニュアルの作成・整備

⑧ その他業務に必要な事項

4-7 建築物等の日常点検業務

- 1) 建築物等の日常点検の範囲は、「5. 運転・監視及び日常点検」による。なお、対象部分及び数量等は、別添③「巡視点検基準表」による。
- 2) 電気室、機械室等の主要な設備機器の設置場所は、1日1回巡視して機器等の異常の有無を点検する。なお、定められた対象部分以外であっても、異常を発見した場合は施設管理者に連絡する。
- 3) 1) から2) に基づく日常点検マニュアルの作成・整備を行う。

4-8 建築物等の保守業務

運転・監視及び日常点検の結果に応じ、実施する保守の範囲は次のとおりとする。

また、休止中の設備にあっても、定期的に点検手入れを行うとともに、必要に応じて試運転を実施し、絶縁不良、発錆、汚損等による機能低下をきたすことがないように努める。

- 1) 汚れ、詰まり、付着等がある部品又は点検部の清掃
- 2) 取り付け不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整
- 3) ボルト、ねじ等で緩みがある場合の増し締め
- 4) 次に示す消耗部品類の交換、補充等
 - ① 潤滑油、グリス、充填油等
 - ② ランプ類、ヒューズ類
 - ③ パッキン、ベアリング、Vベルト、Oリング、フレキシブルホース、バルブ、水栓類等
 - ④ 精製水の補充
 - ⑤ バッテリーの交換（C V C F、直流電源装置は除く）
- 5) フィルター類の交換、清掃（H E P Aフィルターは除く）
- 6) 接触部分、回転部分、摺動部分、その他可動部分への注油
- 7) 軽微な損傷がある部分の補修
- 8) 塗料、その他の部品補修（タッチペイント）、その他これらに類する作業
- 9) 消耗品、予備品の在庫管理
- 10) 保守で生じた廃棄物処理（基本仕様書、9「業務に伴う廃棄物の処理等」による。）

4-9 周期の表記

別添③「巡視点検基準表」に定める日常点検の周期の表記は、次による。

- 1) 1 Hは、1時間に1回行うものとする。
- 2) 2 Hは、2時間に1回行うものとする。

- 3) 1 Dは、1日に1回行うものとする。
- 4) 4 / Dは、1日に4回行うものとする。
- 5) 2 / Dは、1日に2回行うものとする。
- 6) 1 Wは、1週に1回行うものとする。
- 7) 2 Wは、2週に1回行うものとする。
- 8) 1 Mは、1月に1回行うものとする。
- 9) 2 Mは、2月に1回行うものとする。
- 10) 3 Mは、3月に1回行うものとする。
- 11) 6 Mは、6月に1回行うものとする。
- 12) 2 / Mは、1月に2回行うものとする。
- 13) 3 / Mは、1月に3回行うものとする。
- 14) 1 Yは、1年に1回行うものとする。

4-10 監督・立会

建築物、各設備の補修工事等の監督立会、別契約の関連業者が行う定期点検の監督立会、監督官庁等による法定検査立会を行う。

4-11 業務の記録及び報告

- 1) 日常業務における業務日誌を作成し、記録整理する。
- 2) 運転・監視の業務の記録には、次の事項を記載する。
 - ① 記録者
 - ② 機器の運転開始時刻及び終了時刻
 - ③ 熱源機器運転中の外気温湿度
 - ④ 電気、ガス、水道、井水、下水道等の光熱水の使用量
 - ⑤ その他、本仕様書に定める項目
- 3) 業務責任者は、毎日及び毎月の業務終了後、あらかじめ施設管理者の承諾を得た様式の業務日報及び月間業務報告書に、運転・監視、日常点検、保守、監督・立会等、実施業務の内容他必要事項を記入し、統括責任者の確認を受けたうえで施設管理者へ報告すること。
- 4) 業務責任者は、業務の記録等について整理、保管し、施設管理者から請求された場合は、提出又は提示する。
- 5) 業務責任者は、緊急対応を行った時及び契約外の故障修理、改善等の必要性が生じた場合は、具体的にその内容を記載した書面により速やかに施設管理者に報告する。

4-12 連絡・調整

受注者は、維持管理業務の実施に伴う関係部署との連絡・調整、出入業者・別契約の院内業務従事者との連絡・調整、業務に関する苦情処理を行う。

4-13 臨機の措置等

- 1) 受注者は、災害発生に対する措置について、施設管理者と協議のうえ、次の事項をまとめた防災マニュアルを作成し、施設管理者の承諾を受ける。
 - ① 緊急事態への準備
 - ② 緊急事態発生後の対応
 - ③ 業務の早期復旧
- 2) 防災監視盤の発報時には現場確認を行う。
- 3) 対象施設の消防計画に基づく自衛消防隊員として、防火活動を行う。
- 4) 災害発生に伴う重大な危険が認められる場合は、直ちに必要な措置を講じるものとする。この場合は、直ちに施設管理者に連絡するとともに、警備業務関係者等との連絡調整を行う。

4-14 応急措置等

- 1) 受注者は、対象部分に異常が認められた場合の連絡体制、対応方法について、施設管理者と協議のうえ、緊急対応マニュアルを作成し承諾を受ける。
- 2) 点検の結果、対象部分に脱落、落下、転倒の恐れがある場合、また、継続使用することにより著しい損傷、又は関連する部材・機器等に影響を及ぼすことが想定される場合は、簡易な方法により応急措置を講じるとともに、速やかに施設管理者に報告する。
- 3) 落下、飛散等の恐れがあるものについては、その区域を立ち入り禁止にする等の危険防止措置を講じるとともに、速やかに施設管理者及び統括責任者に報告する。

4-15 点検の省略

- 1) 次に掲げる部分は点検を省略することができる。ただし、特記がある場合はこの限りではない。
 - ① 容易に出入りできる点検口のない床下又は天井裏にあるもの。
 - ② 電気の通電又は運転を停止することが極めて困難な状況にあるもの及びその付近にあるもので、点検することが危険であるもの。
 - ③ 地中もしくはコンクリートその他の中に埋設されているもの。
 - ④ ロッカー、机等があり点検不可能なもの。
- 2) 同一の対象部分について、別契約の関連業者が行う定期点検が同一の時期に重複する場合にあっては、当該点検内容が同一である場合に限り、当該点検を省略することができる。

4-16 点検及び保守に伴う注意事項

- 1) 点検及び保守の実施の結果、対象部分を現状より悪化させてはならない。
- 2) 点検及び保守の実施にあたり、仕上材、構造材の一部撤去又は損傷を伴う

場合には、あらかじめ施設管理者の承諾を受ける。

4-17 資料等の整理、保管

業務中は、次に示すものの整理及び保管を行う。

- 1) 貸与資料、設備機器の保守来歴等
- 2) 工具、器具とその台帳

4-18 鍵の取り扱い

預託された業務上必要な鍵の取り扱いは次による。

- 1) 帳簿を作成し、厳重に保管すること。
- 2) 施設管理者の許可無く複製しないこと。
- 3) 委託期間終了時に返却すること。
- 4) 指定された方法により使用、管理すること。

4-19 意見具申

- 1) 受注者は、施設管理者に対して、合理的な設備機器の運転方法の提案等、受注業務の目的を達成するために必要と思われるものについては、積極的に提案書を提出し、その実現に努めなければならない。
- 2) 業務責任者は、設備の改善を図るための配置替え、接続替え等を行うときは、あらかじめ施設管理者に申し出て承諾を得る。

4-20 設備室の清掃

電気室、機械室、ダクトスペース・パイプスペース等の設備室は、整理整頓及び掃き掃除程度の清掃を行う。

4-21 障害物等の排除

設備の運転中、点検及び操作・使用上の障害となるものの有無を点検する。特に消防設備等の動作の妨げとなる物品を発見したときは、当該物品の所有者等に連絡するとともに速やかに撤去する。

5. 運転・監視及び日常点検

5-1 建築

建築、外構の点検項目及び点検内容は、巡視点検基準表1による。

5-2 電気設備

電気設備は保安規定を遵守して、その日常運転・監視及び測定・記録を行う。

- 1) 受変電設備
 - a. 運転・監視、点検は、あらかじめ電気設備の配置図、結線図等を基に

巡視経路を定めて行う。なお、異常がある場合は速やかに、施設管理担当者に報告する。

b. 運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 2－1 による。

- ・ 停電・送電のための主幹開閉器の操作
- ・ 力率改善用進相コンデンサーの投入・開放操作
- ・ 電力需給状態の監視
- ・ 力率・デマンド・負荷の状態監視

2) 非常用発電設備

a. 運転・監視は、システムの安定的及び効率的な運転並びに緊急時に迅速な対応がなされるよう行う。

b. 運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 2－2 による。

- ・ 無負荷運転操作
- ・ 自動手動切替スイッチの位置確認
- ・ 起動順位の確認
- ・ 燃料タンク油量並びに油面上下限警報監視

3) 直流電源設備

日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 2－3 による。

- ・ 各開閉器・遮断機等の操作
- ・ 作動状態の確認

4) 交流無停電電源設備

日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 2－4 による。

- ・ 各開閉器・遮断機等の操作
- ・ 作動状態の確認

5) 電灯・動力設備

日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 2－5 による。

- ・ 低圧配電盤分岐開閉器の投入・開放操作
- ・ 動力・照明設備の定時運転操作
- ・ 動力・電灯・コンセント負荷の状態監視（電力計・電流計の指示値等の監視）

6) 構内配電線路・通信線路

点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 2－6 による。

7) 情報・通信設備

点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 2－7 による。

8) 避雷設備

点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 2－8 による。

5－3 空気調和設備

1) 熱源機器

① 高圧ボイラー

- a. 「労働安全衛生法」及び「同法施行令」並びに「ボイラー及び圧力容器安全規則」に定めるところによるほか、「ボイラーの遠隔制御についての基準（昭和 51 年 2 月 19 日基発第 211 号）」、「ボイラーの低水位による事故防止に関する技術上の指針（昭和 51 年 8 月 6 日労働省告示第 77 号）」による。
- b. 労働基準監督署長又は検査代行機関が行う性能検査に立ち会う。
- c. 日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 3－1－1 による。
 - ・ 起動・停止操作
 - ・ 運転状態監視並びに煤煙濃度監視

② ガス直炊吸収式冷温水発生機

- 日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 3－1－2 による。
- ・ 起動・停止操作
 - ・ 運転状態監視

③ 水蓄熱設備・氷蓄熱設備

- a. スクリュー冷凍機については、「高圧ガス保安法」及び「冷凍保安規則」並びに「冷凍保安規則関係基準」に定めるところによる。
- b. 水蓄熱設備・氷蓄熱設備の日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 3－1－3 及び 3－1－4 による。
 - ・ 起動・停止操作
 - ・ 運転状態監視

2) 空気調和等関連機器

① 熱交換器・ヘッダー

- a. 熱交換器で第 1 種圧力容器に該当するものは、「ボイラー及び圧力容器安全規則」に定めるところによる。
- b. 労働基準監督署長又は検査代行機関が行う性能検査に立ち会う。
- c. 点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 3－2－1 による。

② 冷却塔

- 日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 3－2－2 による。
- ・ 運転状態監視

③ 空気調和機

日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 3-2-3 による。

・運転状態監視

④ パッケージエアコン

日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 3-2-4 による。

・運転状態監視

⑤ ファンコイルユニット

点検項目及び点検内容は巡視点検表基準表 3-2-5 による。

⑥ ファンフィルターユニット

日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 3-2-6 による。

・運転状態監視

⑦ 冷温水等循環設備

日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 3-2-7 による。

・起動・停止操作

・運転状態監視

⑧ 送風機・排風機

日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 3-2-8 による。

・起動・停止操作

・運転状態監視

3) 水質管理

空調機器用水、ボイラー用水の水質管理は、巡視点検基準表 3-3 による。

4) 第 1 種特定製品

フロン排出抑制法に基づく第 1 種特定製品（パッケージエアコン、冷凍機等）の簡易定期点検及び定期点検を行う。対象機器は、別添 2 設備概要による。法令の要件を満たす点検記録簿を作成し提出すること。

① 圧縮機出力 7.5kw 未満

簡易定期点検を 3 ヶ月に 1 回以上行う。点検項目及び点検内容は一社）日本冷凍空調設備工業連合会の「簡易点検の手引き」及び巡視点検基準表 3-2-4 による。

② 圧縮機出力 7.5kw 以上 50kw 未満

簡易定期点検に加えて定期点検を 3 年に 1 回行う。点検は外観点検の他、フロン検知器他、計器を利用したフロン類の漏れ検査等を行う。なお、点検は令和 3 年度、令和 6 年度に実施すること。

③ 圧縮機出力50kw以上

簡易定期点検に加えて定期点検を1年に1回行う。点検内容は、基本仕様書3-2の「21 スクリューチラー他保守点検業務」及び、「22) 氷蓄用スクリューヒートポンプ保守点検業務」による。

5-4 給排水衛生ガス設備

1) 給排水衛生機器

- a. 飲料用水給水設備は、「水道法」及び「同法施行規則」、「水質基準に関する省令」、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」、「同法施行規則」及び「同法に基づく厚生労働省告示」並びに市条例の定めるところによる。また、検査機関による簡易専用水道定期検査に立ち会う。
- b. 貯湯槽で第1種圧力容器に該当するものは、「ボイラー及び圧力容器安全規則」に定めるところによる。また、労働基準監督署長又は検査代行機関が行う性能検査に立ち会う。
- c. 汚水槽及び雑排水槽は、「下水道法」及び「同法施行令」及び「同法施行規則」、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」、「同法施行規則」及び「同法に基づく厚生労働省告示」の定めるところによる。
- d. 日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表4-1による。
 - ・満水・減水警報及び運転状態の監視
 - ・給湯温度の監視

2) 井水処理設備

日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表4-2による。

- ・運転状態監視

3) 水質の維持

飲料水、中央式給湯設備による給湯水、雑用水の水質の管理は巡視点検基準表4-3による。

4) 排水処理設備

- a. 除害施設は「下水道法」及び「同法施行令」及び「同法施行規則」、「水質汚濁防止法」及び市条例の定めるところによる。
- b. 日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表4-4による。
 - ・満水・減水警報及び運転状態の監視

5) 循環濾過設備

- a. 浴槽水の水質管理は「公衆浴場法」及び別添④「3階南病棟循環式浴槽管理マニュアル」の定めるところによる。
- b. 日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は「3

階南病棟循環式浴槽管理マニュアル」の他、巡視点検基準表 4－5 による。

- ・ 起動・停止操作
- ・ 運転状態監視

6) 厨房設備

点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 4－6 による。

7) ごみ貯留設備

日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 4－7 による。

- ・ ごみ貯留設備運転時の運転補助（随時実施）
（ごみ貯留システム運転時に装置が停止した場合、清掃業務責任者と協力し速やかにその原因を除去すると共に装置を復旧させること。）

8) 第 1 種特定製品（圧縮機出力 7.5kw 未満）

フロン排出抑制法に基づく第 1 種特定製品（冷凍・冷蔵庫等）の簡易定期点検を 3 ヶ月に 1 回以上行う。対象機器は、別添 2 設備概要による。

点検項目及び点検内容は一社）日本冷凍空調設備工業連合会の「簡易点検の手引き」及び巡視点検基準表 3－4－1 による。

法令の要件を満たす点検記録簿を作成し提出すること。

5－5 防災設備

1) 消防用設備等

日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 5－1 による。

- ・ 発報時の操作確認及び復旧操作
- ・ 総合防災盤の監視
- ・ 消火設備起動時の運転確認及び復旧操作

2) 建築基準法関係防災設備

日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 5－2 による。

- ・ 起動時の運転確認及び復旧操作

5－6 医療ガス設備

日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 6 による。

- ・ 補充時の連絡業務

5－7 中央監視設備

日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基

準表 7 による。

- ・ 運転状態監視
- ・ 各種中央監視機器の発停、設定変更

5－8 昇降機・搬送設備

日常運転・監視内容は次による。また、点検項目及び点検内容は巡視点検基準表 8 による。

- ・ 運転切替操作
- ・ 運転状態監視
- ・ 呼び出し応答

6. 執務環境測定

6－1 空気環境測定

1) 「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」を準用し、空気調和設備及び機械換気設備を設けている居室の空気環境を定期的に測定する。

2) 測定結果の報告

測定結果の報告は、1－12「業務の記録及び報告」による。なお、測定の結果、政令に定める管理基準値に適合しない場合には、その原因を推定し、施設管理者に報告する。

3) 測定方法

① 測定位置等は、当該建築物の通常の使用期間中に、室内について各階毎に居室の適切な位置の床上 75 cm 以上 120 cm 以下の高さで測定し、外気については外気取入口付近及び 1 階出入口付近で測定する。

② 測定周期は、2 月に 1 回（ホルムアルデヒドの量については、年 1 回（6 月から 9 月の間））とする。

③ 測定点数は、以下による。なお、内気の測定箇所は施設管理者の指示による。

a. 内気の測定点数 48 点（24 点×2 時点）

b. 外気の測定点数 4 点（2 点×2 時点）

④ 測定項目は、以下による。ただし、外気の場合の気流の測定は行わない。

a. 浮遊粉塵の量

b. 一酸化炭素の含有率

c. 二酸化炭素の含有率

d. 温度

e. 相対湿度

f. 気流

g. ホルムアルデヒドの量

* 上記、a.、b.、c.、に掲げる管理基準値について、比較すべき数値は、

- 1日の使用時間中の平均値とする。この場合の平均値は、午前、午後の2時点において測定し、その平均値をもって当該平均値として構わない。
- ⑤ 使用する測定機器等は、厚生労働省令の定めによる。なお、測定機器、試験材料等は、受注者の負担とする。

6-2 照度測定

1) 測定結果の報告

測定結果の報告は、1-15「業務の記録及び報告」による。なお、測定の結果、JIS Z 9110（照度基準表）に定める照度基準に適合しない場合は、その原因を調査、推定し、施設管理者に報告する。

2) 測定方法

- ① 測定方法は、JIS C 7612（照度測定方法）によるものとし、測定機器はJIS C 1609（照度計）の規格品とする。
- ② 測定周期は、6月に1回とする。
- ③ 測定点数は、手術室を除く24点とする。なお、測定箇所は施設管理者の指示による。
- ④ 測定機器は、受注者の負担とする。

7. エネルギー管理業務

7-1 エネルギー管理業務

1) 省エネ法の規定に基づきエネルギー管理員を選任し、本館及びリハビリテーション棟のエネルギー管理業務を次のとおり行う。

- ① 対象施設に関する管理標準を設定し、エネルギー使用の合理化を図るための管理、計測・記録、保守・点検、新設にあたっての措置を行う。
- ② エネルギー管理員は、対象施設におけるエネルギーの使用の合理化に関し、エネルギーを消費する設備の維持、エネルギーの使用の方法の改善及び監視並びにエネルギーの使用の合理化に関する設備の維持業務の管理を行う。
- ③ エネルギー管理員は、エネルギーの使用の合理化についての資料とするため、電力量、ガス流量、冷温水流量等の計測データを定期的に採取、分析して電力量の部門別配賦や用途別計上、ボイラー、冷凍機の効率算定等を行う。

2) 報告書作成業務

- ① エネルギーの計測データの集約・分析結果、改善計画を半年毎に取りまとめ、省エネ報告書として施設管理者に提出すること。
- ② 省エネ法等の関係法令に基づくエネルギー使用状況、使用の効率、合理化等についての事項についての報告書を作成すること。

3) その他

- ① 施設管理者は、エネルギーの使用の合理化に関し、エネルギー管理員がその職務を行う上での意見を尊重しなければならない。
- ② 病院職員及び院内業務従事者は、エネルギー管理員がその職務を行う上で必要であると認めてする指示に従わなければならない。
- ③ エネルギー管理員は、エネルギー管理統括者及びエネルギー管理企画推進者等の指示に従わなければならない。

7-2 エネルギー削減目標

エネルギーの使用の合理化については、エネルギー消費原単位で対前年度比で年間1%以上、委託期間を通して中長期的に年平均1%以上の削減を図ることを最低限の目標とする。

8. その他関連業務

8-1 光熱水使用量検針

- 1) 電気・上水・雑用水・ガス・給湯の各使用量を、施設管理者の指定する日に検針する。なお、検針結果は使用量一覧表を作成し当月中に施設管理者に提出する。
- 2) 検針周期は1月1回とする。
- 3) 検針点数は以下による。
箕面市立病院 125点

8-2 栄養部厨房レンジフード清掃

- 1) フード内外面及びグリスフィルターの洗浄清掃を行う。
- 2) 作業報告は、1-15「業務の記録及び報告」による。なお、施行前後の状況を撮影した写真を貼付すること。
- 3) 清掃周期は6月1回とする。

8-3 視聴覚室AV機器の操作

- 1) AV機器類について、視聴覚室使用時に設定・操作を行う。
- 2) 業務の周期は随時とする。
- 3) 講義室Iに設置するAV機器も同様とする。

8-4 病室セーフティーボックスの解錠

- 1) 各病室備え付けのセーフティーボックスのカードキーを利用者が紛失した場合等に、マスターキーを用いて解錠する。また、必要に応じてキーユニットの取替を行う。
- 2) 作業周期は随時とする。

8-5 修繕業務

- 1) 建築物、設備等のうち、手すり、コンセント等の破損があった場合は、すみやかに保全、修繕措置を講じること。
- 2) ナースコール、電話機、洗濯機等の機器等について、中央監視室の待機時間において修繕を行うこと。
- 3) その他、施設管理者の求めに応じて可能な限りの修繕対応を行う。

8－6 泡沫キャップの取替・洗浄

- 1) 流し、手洗い等の吐水口の泡沫キャップを取り外し、吐水口まわりを清掃する。
- 2) 洗浄消毒済みの泡沫キャップを取り付け、除菌剤配合多目的洗剤を用いて清拭を行う。
- 3) 取り外した泡沫キャップを分解し、Ｏリング以外をスケール除去剤に浸漬後、十分水洗いして組み立てる。
- 4) 除菌剤配合多目的洗剤に浸漬後乾燥させ、ビニール袋等に入れて密閉保管する。

8－7 その他の業務

- 1) 前受託者が行っていた維持管理業務及びこれに附随する業務は、仕様書に明示されていない場合であっても、受注者の責任において施行すること。

施設一覧（各施設の概要）

2020/8/31

分類	敷地面積	建築面積	延床面積	階別	床面積	主 用 途	棟
箕面市立病院	28,569. 88㎡	(本館) 5,745. 15㎡	20,736. 63㎡	地 階	4,717㎡	厨房、食堂、薬剤部、診療情報管理室、RI検査室、コンビニ、物品倉庫、霊安室、解剖室、電気室、機械室等	1
				1 階	4,177㎡	外来診療部門、中央放射線部、MRI(1.5T)室、生理機能検査室、医療事務室、医事受付、ロビー、多目的室、玄関等	
				2 階	3,837㎡	ICU病棟13床、中央手術部、中央滅菌材料室、中央検査部(脳波検査室)、医務局、院内学級、看護局等	
				3 階	2,264㎡	東病棟38床(産婦人科、周産期部門)、西病棟42床(内科、小児科、日帰り手術センター)	
				4 階	2,027㎡	東病棟45床(外科、脳神経外科)、西病棟43床(整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科)	
				5 階	2,027㎡	東病棟44床(内科、眼科)、西病棟42床(皮膚科、外科、内科)	
				塔屋1階	358㎡	エレベーターホール、倉庫等	
				塔屋2～3階	447㎡	機械室	
		(附属棟) 内、765. 33㎡	内、882. 42㎡		284㎡	RI処理槽室(RI処理槽室、マニホールド室、集塵室等)	
					97㎡	受水槽室(受水槽室、ポンプ室)	
					502㎡	自転車置場、救急車駐車場、通路他共用部	
		(リハビリテーションセンター棟) 3,979. 94㎡	13,330. 32㎡	地 階	2,840㎡	内視鏡センター(画像検査室)、MRI(3T)室、研究室、中央監視室(防災センター)、倉庫、電気室、機械室等	1
				1 階	3,727㎡	外来診療部門、休日歯科、外来治療センター(化学療法室、回復s津、診察処置室)リハビリテーションセンター、早期療育ゾーン等	
				2 階	2,533㎡	管理者室、総長室、副院長室、顧問室、図書室、総合スタッフルーム、会議室、病院管理室、病院経営室等	
				3 階	2,406㎡	南病棟50床(リハビリテーション科)、訓練室、浴室、食堂(デイルーム)	
				4 階	1,593㎡	視聴覚室(いろはホール)、講義室、カンファレンスルーム、ホワイ	
				塔屋1階	231㎡	機械室	
		—	—	地 階	(121㎡)	排水処理施設 ※第1駐車場地下に設置	(1)
				1 階	(10㎡)	井水処理施設 ※第2駐車場北側に設置	(1)
箕面市立病院 第1駐輪場 (増築分)	121. 34㎡	0㎡	45. 75㎡	1 階	46㎡	自転車置場(単独車庫)	1
箕面市立病院 医師住宅	589. 43㎡	146. 18㎡	472. 66㎡	(1 階)	110㎡	ピロティ	1
				1 階	8㎡	機械室	
				2 階	118㎡	住居2戸、階段、P・S等	
				3 階	118㎡	住居2戸、階段、P・S等	
病院管理施設	29,280. 65㎡	9,871. 27㎡	34,585. 36㎡	—	—		5
みのおっこ保育園	1,155. 36㎡	332. 10㎡	328. 86㎡	1 階	329㎡	病院管理対象外(敷地無償貸与)	1
紅葉夢保育園	3,530. 14㎡	809. 25㎡	1,094. 95㎡	1 階	—	病院管理対象外(敷地無償貸与・園庭に病院排水管・最終会所あり)	1
				2 階	—		

種 別	病 院 本 館	リハビリテーションセンター棟	医 師 住 宅	駐 車 場
構 造	高層棟 鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート、鉄骨造	鉄筋コンクリート造	アスファルト舗装
	低層棟 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造			300台収容

施設概要は本表の他、各階平面図も参照

設 備 概 要

I 章. 設備仕様（本館及びリハビリテーションセンター棟）

1. 電気設備

電力は関西電力送配電㈱から供給を受けており、西宿変電所から2系統で高圧受電している。構内配電線路は地中埋設ケーブルとなっており、敷地東側の市道にある関西電力柱からリハビリテーションセンター棟「以下、「リハ棟」という。」地階電気室まで配電している。さらに当該電気室から本館へ高圧送電をしている。なお、その他の屋外施設（受水槽室、排水処理室等）には、低圧で送電している。

院内の動力・電灯・コンセントの各回路は、一般系統・非常用（発電機）系統・無停電系統に分かれている。特に、手術部、ICU、サーバー室及び構内LANの主要部分は、無停電系統で送電されている。

1) 住所	箕面市萱野5-7-1	
2) 受電電圧	6600〔V〕	
3) 契約電力	1350〔kw〕	
4) お客様番号	01140000138000	
5) 電柱番号	常用回線 Wセンイ4W12S5（リハビリ棟東側） 予備回線 ニシセンイ4W12S3（本館東側）	
6) 電気方式		
①高圧動力	3相3線	6600〔V〕
②低圧動力	3相3線	400・200〔V〕
③レントゲン	3相3(4)線	480・400・200〔V〕
④電灯・コンセント	単相3線	200/100〔V〕

2. 空気調和設備

各ゾーンごとに空気調和機からダクトを通して冷温風を送り、温度湿度調節と併せて換気を行っている。なお、本館の病室は空気調和機に替えて空調用換気扇により熱交換換気を行っている。

また、諸室はファンコイルユニット及び電気式ヒートポンプエアコンを併用することにより使用条件に合わせた温度調節が行える。

空調用熱源は、ガス焚き吸収式冷温水発生機を主体とし、本館は水蓄熱式水冷チラー（廃熱回収付）、リハ棟は氷蓄熱式空冷ヒートポンプを組み合わせ、冷温水を各機器に供給している。

また、高圧蒸気ボイラーからの蒸気を用いた間接加熱方式により温水を取り出すことも出来る。

なお、本館空調機の加湿は高圧蒸気ボイラーからの蒸気を用い、リハ棟の加湿は上水を用いている。

3. 給排水衛生ガス設備

1) 給水設備

上水と雑用水の2系統があり、いずれも重力式で各所へ給水している。

①上水

上水は市営水道の船場西配水地から供給を受けており、敷地東側の市道に埋設している配水管から受水槽室に設置の受水槽へ導入貯水している。受水槽からは揚水ポンプで

本館及びリハ棟の各高置水槽へ揚水し各所へ給水している。

②雑用水

雑用水は井水処理水を使用している。敷地内に設置している深井戸からの井水を除砂、滅菌の上、本館地階の雑用水槽へ貯水。揚水ポンプで本館及びリハ棟の各高置水槽へ揚水し各所へ給水している。

2) 給湯設備

本館及びリハ棟の各貯湯槽より給湯循環ポンプで各所に給湯している。なお、貯湯槽は蒸気による間接加熱方式とし、蒸気は本館地階ボイラー室の高圧蒸気ボイラーから供給している。

3) 排水設備

雨水、雑排水（厨房浴室系・実験系）、汚水、R I 排水（雑排水・汚水）に分流。雨水、汚水以外は敷地内に設置の排水処理施設で処理後、公共下水道に放流している。なお、R I 排水は附属棟内のR I 処理施設で1次処理後、雑排水と合流し排水処理施設で再処理を行い公共下水道に放流している。

4) ガス設備

都市ガスは大阪ガス株から供給を受けており、敷地東側の市道に埋設している中圧・低圧各ガス管より引き込み各所に供給している。

①中圧

本館・リハ棟へ個別に引き込み、吸収式冷温水発生機及び高圧ボイラーの熱源として、各機械室に供給している。

②低圧

本館に引き込み、本館各所のガス機器に供給すると共に、リハ棟厨房にも供給している。

Ⅱ章. 施設別概要

1. 本館及びリハビリテーション棟

1. 電気設備

A. 病院本館（R I 処理槽室、受水槽室他の付属棟を含む）

1) 受変電設備

①高圧配電盤

5 面

盤構成 屋内閉鎖型 4 段積

V C B 7. 2KV, 600A, 12. 5KA × 1 1 台

限流ヒューズ（P T 用） 7. 2KV, 500MVA, 1A × 8 本（2 組）

②高圧機器

a) L B S

3P, 7. 2KV, 200A

1 9 台

b) 電力ヒューズ

7. 2KV, 40KA, 75A（動力）

1 2 本（4 組）

7. 2KV, 40KA, 50A（動力）

3 本（1 組）

7. 2KV, 40KA, 50A（電灯）

1 0 本（5 組）

7. 2KV, 40KA, 40A（動力）

6 本（2 組）

7. 2KV, 40KA, 30A（動力）

1 2 本（4 組）

7. 2KV, 40KA, 30A（電灯）

2 本（1 組）

7. 2KV, 40KA, 20A（動力）

3 本（1 組）

7. 2KV, 40KA, 10A（動力）

3 本（1 組）

c) 変圧器（油入自冷式）

T r 1 3 相, 6600/210V, 500KVA

1 台

T r 2 3 相, 6600/210V, 100KVA

1 台

T r 3 3 相, 6600/480-277V, 100KVA

1 台

T r 4 3 相, 6600/210V, 50KVA]

1 台

T r 5 3 相, 6600/440V, 500KVA

1 台

T r 6 3 相, 6600/210V, 200KVA

1 台

T r 7 単相, 6600/210-105V, 150KVA

1 台

T r 8 単相, 6600/210-105V, 150KVA

1 台

T r 9 単相, 6600/210-105V, 200KVA

1 台

T r 1 0 単相, 6600/210-105V, 200KVA

1 台

T r 1 1 単相, 6600/210-105V, 200KVA

1 台

T r 1 2 単相, 6600/210-105V, 50KVA

1 台

T r 1 3 3 相, 6600/440V, 300KVA

1 台

T r 1 4 3 相, 6600/440V, 500KVA

1 台

T r 1 5 3 相, 6600/440V, 200KVA

1 台

T r 1 6 3 相, 6600/210V, 500KVA

1 台

T r 1 7 3 相, 6600/210V, 30KVA

1 台

T r 1 8 3 相, 6600/440V, 150KVA

1 台

③進相コンデンサー盤

コンデンサ盤 No. 1 V-CBS 6. 6KV/300A, SC 200KVA, 直列リアクトル 12KA

1 面

コンデンサ盤 No. 2 V-CBS 6. 6KV/300A, SC 200KVA, 直列リアクトル 12KA

1 面

コンデンサ盤 No. 3 V-CBS 6. 6KV/300A, SC 300KVA, 直列リアクトル 18KA

1 面

④低圧配電盤

レントゲン盤 No. 1 T r 1

1 面

レントゲン盤 No. 2 T r 2 / 3 / 4

1 面

M-G 動力盤 No. 1（左） T r 5

1 面

M-G 動力盤 No. 2 T r 6

1 面

M-G 動力盤 No. 1（右） T r 5

1 面

M-G動力盤 No. 3	T r 5	1 面
M-G動力盤 No. 4	T r 6	1 面
L-G電灯盤 No. 1	T r 7 (T r 9 / T r 1 0)	1 面
L-G電灯盤 No. 2	T r 8	1 面
L-G電灯盤 No. 3	T r 7	1 面
一般電灯盤 No. 1	T r 9 (T r 7)	1 面
一般電灯盤 No. 2	T r 1 0 (T r 7)	1 面
一般電灯盤 No. 3	T r 1 1	1 面
一般電灯盤 No. 4	T r 9	1 面
一般電灯盤 No. 5	T r 1 1	1 面
一般動力盤 No. 1	T r 1 4	1 面
一般動力盤 No. 2	T r 1 5 (T r 5 / T r 6)	1 面
一般動力盤 No. 3	T r 1 6 (T r 1 6)	1 面
一般動力盤 No. 4	T r 1 6	1 面
コンピューター盤	T r 1 2	1 面
T r - 1 3 盤	T r 1 3	1 面
複合盤		1 面
非常動力盤 No. 1 (T r 5)、非常動力盤 No. 2 (T r 6)		
非常電灯盤 No. 1 (T r 7)、非常電灯盤 No. 2 (T r 8)		
一般電灯盤 No. 3 (T r 1 1)、コンピューター盤 (T r 1 2)		
一般動力盤 No. 1 (T r 1 4)、一般動力盤 No. 3 (T r 1 6)		
⑤高圧母線	OC38 [□]	1 式
⑥低圧母線	AL-F e 絶縁バスダクト	1 式
2) 非常用発電設備		
①ディーゼル内燃機関 (ダイハツディーゼル製)		1 組
900ps / 900rpm 6DSb-22 (DB622512)		
圧縮空気自動起動方式		
空気タンク 200ℓ (2台)		
冷却水槽 1000ℓ		
燃料タンク 1950ℓ (A重油)		
燃料小出槽 490ℓ		
②交流発電機 (東芝製)		1 組
TAKL-SE (B07066441A) 3相3線式		
750KVA-6.6KV-65.6A-60Hz-8P-900rpm-0.8PF		
3) 直流電源設備		
①蓄電池		1 組
鉛蓄電池 SNSX-500×54セル、DC108V		
②充電器		1 組
SCR方式全自動装置付		
4) 交流無停電電源設備		
ICU系統医療用電源 (古河電池GBT30MX)		1 組
定格入力 AC200V、60Hz、3相3線		
定格出力 AC200V、60Hz、3相3線、10kVA		
AC200V、60Hz、単相2線、20kVA		
蓄電池 鉛蓄電池 FVL-50-12×32セル		
5) 動力操作盤		
CSB-0-1	(受水槽室)	1 面

CSB-B-1~5・7~9	(B 1 F)	8面
CSB-1-1~2	(1 F)	2面
CSB-2-1~5	(2 F)	5面
CSB-3-1~2	(3 F)	2面
CSB-RF1-1~4	(PH 1 F)	4面
CSB-RF2-1	(PH 2 F)	1面
手術室空調操作盤 (手術室専用)	(2 F)	1面
6) 動力分電盤		
B-M-A (ヒートポンプ専用)	(B 1 F)	1面
中央材料滅菌室機器盤	(2 F)	1面
B-M-PET (PET-CT用)	(B 1 F)	1面
B-M-B (ヒートポンプ専用)	(B 1 F)	1面
7) 電灯分電盤		
BL-1~10	(B 1 F)	9面
1L-1~7	(1 F)	7面
1LG-A (医事課FA床専用)	"	1面
1L-A (")	"	1面
2L-1~10	(2 F)	10面
3L-1~3	(3 F)	3面
4L-1~2	(4 F)	2面
5L-1~2	(5 F)	2面
PHL1-1	(PH 1 F)	1面
PHL2-1	(PH 2 F)	1面
外灯分電盤	(B 1 F)	1面
OPL-1 (手術室専用)	(2 F)	1面
OPL-2 (")	"	1面
8) OA用分電盤		
BLG-8N	(B 1 F)	1面
BL-9N	"	1面
1LG-A	(1 F)	1面
1LG-1N・5N	"	2面
1L-2N・4N・6N~7N	"	4面
2LG-2N	(2 F)	1面
2L-5N~6N	"	2面
3L-1N~3N	(3 F)	3面
4L-1N~2N	(4 F)	2面
5L-1N~2N	(5 F)	2面
9) X線専用開閉器盤		
S-1~6	(1 F)	6面
10) 端子盤		
T-BA~C	(B 1 F)	3面
T-1A~C	(1 F)	3面
T-2A~D	(2 F)	4面
T-3A	(3 F)	1面
T-4A	(4 F)	1面
T-5A	(5 F)	1面

11) 照明設備 (非常用照明含む)

① 蛍光灯、サークライン、白熱球	約 3 0 0 0 本
② LED 照明 (ベースライト、常夜灯、フットライト等)	約 4 0 0 台
③ 外部照明灯 (水銀灯等)	約 1 5 0 ヶ所

12) 電話設備 (リハ棟含む)

① デジタル電子交換機 (沖電気 D O 1)	1 組
蓄電池及び整流機含む	
課金装置 (沖電気 I F E)	× 1 式
障害プリンター (" M L 1 9 3)	× 1 式
② 局線中継台 (沖電気 P A 8 0 1 A)	2 台
③ 電話機	
a) デジタル多機能 (沖電気 D I 2 0 3 1 - M K T - D 1 - F 他)	7 2 台
b) 一般電話機 (沖電気 D I 2 0 8 4 他)	3 6 2 台
c) P H S 電話機	3 0 9 台
	(内、ナースコール連動 3 5 台)
④ P H S アンテナ	7 6 基

13) 放送設備

一般放送及び避難誘導放送兼用	
① 放送用アンプ (1 0 8 0 W / 防災センターに設置)	1 台
② スピーカー	8 5 1 台
③ 非常用遠隔操作器	2 台

14) 信号設備

① インターホン			
a) 手術室用インターホン	親 機	1 2 局	1 台
	卓上壁掛	1 局	6 台
② ナースコール			
a) 親 機	6 0 局用		6 台
	4 0 局用		1 台
b) 呼出表示器	1 0 局用		1 台
	3 局用		1 台
	5 局用		1 台
c) 子 機			1 式
d) ナースコール制御器			6 台
e) ハンディーナースコール親機 (P H S 電話機に含む)			(3 5 台)
f) 壁付呼出押釦			1 1 9 個
g) 便所用押釦			1 式
h) 表示灯			1 4 4 個
i) 復旧釦			4 7 個
③ 外来呼出装置 (家族待合含む)			
a) アンプ	3 W		1 2 台
b) 卓上マイク			4 3 台
c) スピーカー			2 4 台
④ 医事受付呼出装置			
a) アンプ	1 0 W		1 台
b) リモートマイク			4 台
c) ワイヤレスアンテナ			2 台

15) 電気時計設備		
a) 親時計	水晶式 8回路	1面
b) 子時計		143台
16) テレビ共聴設備		
①アンテナ		
a) UHF25素子(ステンレス)アンテナ		1本
b) UHF24素子(ステンレス)アンテナ		1本
②分配器収納函		6台
③直列ユニット		
a) UV-SU-37-7		65個
b) UV-SU-37-R		37個
④室内用分波器		101個
17) 情報設備(リハ棟含む)		
①オーダリング用ネットワーク設備		
a) ネットワーク盤		26面
b) ネットワーク構成機器(HUB等)		132台
c) 情報コンセント		1640ヶ所
d) 無線LANアクセスポイント		74ヶ所
②外来表示設備等		
プラズマディスプレイ表示盤 50型(PDP-507CMX-JP)		16ヶ所
プラズマディスプレイ表示盤 42型(PDP-427CMX-JP)		2ヶ所
DVDレコーダー(DMR-XP11)		1台
アップ・スキャンコンバーター・ユニット(XRGB-3)		1台
モニタ分配器(VGA-HR2K)		1台
モニタ切替器(SW-EV2)		2台
18) 防犯設備		
①監視カメラ設備		
a) 録画装置		5組
b) 監視モニター		2台
c) 監視カメラ		43台
②入退管理装置		
a) 入退管理装置		2組
b) セキュリティーゲート		7組
c) 監視モニター		1台
d) 電気錠		8台
19) 避雷針設備		
①接地極		7ヶ所
②避雷突針		3基

B. リハ棟

1) 受変電設備		
①高圧盤1		
No.1PCT盤	本線引込	1面
No.1受電盤	本線受電盤 VCB 7.2KV 600A/12.5KA × 1	1面
No.2PCT盤	予備線引込	1面
No.2受電盤	予備線受電盤 VCB 7.2KV 600A/12.5KA × 1	1面

配電線盤 (1)	コンデンサ饋電盤、予備	"	× 2	1 面
配電線盤 (2)	リハビリ棟 (1)、本館 (1) 饋電盤	"	× 2	1 面
No. 1 母線連絡盤		"	× 1	1 面
No. 2 母線連絡盤	発電機連絡、母線補助	"	× 1	1 面
配電線盤 (3)	本館 (2)、リハビリ棟 (2) 饋電盤	"	× 2	1 面
② 高圧盤 2				
配電線盤 (3)	非常 X 線、非常電灯動力饋電盤、予備 (スペース)	VCB 7.2KV 600A/12.5KA	× 1	1 面
No. 2 引込盤	リハビリ棟受電 2 号	"	× 1	1 面
母線連絡盤	補助盤、リハビリ棟母線盤	"	× 1	1 面
No. 1 引込盤	リハビリ棟受電 1 号	"	× 1	1 面
配電線盤 (2)	一般電灯饋電盤、予備 (スペース)	"	× 1	1 面
配電線盤 (3)	深夜電力ヒーター・高圧冷凍機盤、X 線・一般動力饋電盤	"	× 2	1 面
③ 変圧器盤 (モールド型トランス)				
深夜電力用 V C T 盤				1 面
高圧冷凍機 V C B 盤	VCB 7.2KV 600A/12.5KA	× 2		1 面
深夜電力ヒーター盤	TR1-1 3φ 300KVA	6600/210V		1 面
X 線 T R 盤	TR2-1 3φ 150KVA	6600/440V		1 面
一般動力 T R 盤	TR2-2 3φ 500KVA	6600/210V		1 面
一般電灯 No. 1 T R 盤	TR3-1 1φ 150KVA	6600/210-105V		1 面
一般電灯 No. 2 T R 盤	TR3-2 1φ 150KVA	6600/210-105V		1 面
一般電灯 No. 3 T R 盤	TR3-3 1φ 75KVA	6600/210-105V		1 面
非常 X 線 No. 1 T R 盤	TR4-1 3φ 100KVA	6600/440V		1 面
非常 X 線 No. 2 T R 盤	TR4-2 3φ 300KVA	6600/210V		1 面
非常動力 No. 1 T R 盤	TR4-3 3φ 300KVA	6600/210V		1 面
非常動力 No. 1 T R 盤	TR4-4 3φ 200KVA	6600/210V		1 面
非常電灯 T R 盤	TR4-5 3φ 100KVA	6600/210-105V	スコット	1 面
④ 進相コンデンサー盤				
コンデンサー盤 No. 1	VCS 6.6KV 200A SC200KVar	直列リアクトル 12KVA		1 面
" No. 2	"	"		1 面
" No. 3	"	"		1 面
" No. 4	VCS 6.6KV 200A SC100KVar	直列リアクトル 6KVA		1 面
" No. 5	VCS 6.6KV 200A SC100KVar	直列リアクトル 6KVA		1 面
" No. 6	"	"		1 面
⑤ 低圧配電盤				
深夜電力ヒーター盤	T R 1 - 1			1 面
非常 X 線盤 No. 1	T R 4 - 1			1 面
" No. 2	T R 4 - 2			1 面
一般動力盤	T R 2 - 2			1 面
一般電灯盤 No. 1	T R 3 - 1			1 面
" No. 2	T R 3 - 2			1 面
" No. 3	T R 3 - 3			1 面
X 線盤	T R 2 - 1			1 面
非常動力盤 No. 1	T R 4 - 3			1 面
" No. 2	T R 4 - 4			1 面
非常電灯盤	T R 3 - 5			1 面
2) 非常用発電機 (リハビリ棟 B 1 階発電気室) ダイハツディーゼル (株) 1 組				
ディーゼル機関	型式 6DSK-19A	900PS 1200rpm (D619055)		
交流同期発電機	" TAKL-SEK	6.6KV 750KVA 65.7A 6P 1200rpm 0.8PF		
潤滑油プライミングポンプ		3φ 0.75KW		

潤滑油槽	300ℓ
燃料小出槽	1950ℓ
始動用空気槽	150常用、予備 2基
始動用空気圧縮機	3φ3.7KW 吐出圧力 30 kg/
減圧水槽	1000
冷却水ポンプ	3φ3.7KW
発電機制御盤	No. 2 自動始動盤
〃	No. 2 発電機盤
〃	自動同期盤

3) 直流電源装置 (リハビリ棟 B1階蓄電池室) (株) ユアサコーポレーション

- | | |
|---------------------------|----|
| ①鉛蓄電池HS-250EX×54セル、DC100V | 1組 |
| ②充電器 SCR方式全自動装置付 | 1組 |

4) 無停電電源

(B1階電気室)

- | | |
|---|----|
| ①ネットワーク用 (日立製作所H I V E R T E R - 7 7 7 E) | 1組 |
| 定格入力 AC210V、60Hz、3相3線、50kVA | |
| 定格出力 AC210/105V、60Hz、単相3線、50kVA | |
| 蓄電池 鉛蓄電池 SNSX-200×108セル | |
| ②手術室・分娩室・詰所・PBX用 (東芝電機TOSNIC-6100) | 1組 |
| 定格入力 AC210V、60Hz、3相3線、83kVA (回復充電時) | |
| 定格出力 AC210V、60Hz、3相3線、75kVA | |
| 蓄電池 鉛蓄電池 SNSX-150×108セル | |
| ③外来治療センター用 (東芝電機TOSNIC-4211) | 1組 |
| 定格入力 AC210V、60Hz、3相3線 | |
| 定格出力 AC210V/105V、60Hz、単相3線、30kVA | |
| 蓄電池 鉛蓄電池 SNSX-100×144セル | |

5) 中央監視装置 (リハ棟 中央監視室) アズビル(株)

- | | |
|-------------------------|----|
| s a v i c - n e t F X 2 | 1式 |
| 電力監視グラフィックパネル (リハ棟用) | 1面 |
| 〃 (本館用) | 1面 |
| 電力操作部 | 2台 |
| 無停電電源装置 (UPS 3kVA) | 1組 |
| 電力リレー盤 (リハ棟用) | 2面 |
| 〃 (本館用) | 1面 |

6) 動力制御盤

- | | | |
|---------|-------------|----|
| MR-B-1 | (リハビリ棟 B1F) | 1面 |
| 〃 - B-2 | (〃) | 1面 |
| 〃 - 1-1 | (リハビリ棟 1F) | 1面 |
| 〃 - 1-2 | (〃) | 1面 |
| 〃 - 1-3 | (〃) | 1面 |
| 〃 - 2-1 | (リハビリ棟 2F) | 1面 |
| 〃 - 2-2 | (〃) | 1面 |
| 〃 - 2-3 | (〃) | 1面 |
| 〃 - 3-1 | (リハビリ棟 3F) | 1面 |
| 〃 - 3-2 | (〃) | 1面 |
| 〃 - 4-1 | (リハビリ棟 4F) | 1面 |
| 〃 - 4-2 | (〃) | 1面 |

〃 - 4 - 3	(〃)	1 面
MR - 5 - 1	(リハビリ棟 5 F)	1 面
7) 電灯分電盤		
LR - B - 1	(リハビリ棟 B 1 F)	1 面
〃 - B - 2	(〃)	1 面
〃 - B - 3	(〃)	1 面
〃 - 1 - 1	(リハビリ棟 1 F)	1 面
〃 - 1 - 2	(〃)	1 面
〃 - 1 - 3	(〃)	1 面
〃 - 2 - 1	(リハビリ棟 2 F)	1 面
〃 - 2 - 2	(〃)	1 面
〃 - 3 - 1	(リハビリ棟 3 F)	1 面
〃 - 3 - 2	(〃)	1 面
〃 - 4 - 1	(リハビリ棟 4 F)	1 面
〃 - 4 - 2	(〃)	1 面
〃 - 4 - 3	(〃)	1 面
〃 - 5 - 1	(リハビリ棟 5 F)	1 面
XR - 1	(リハビリ棟 B 1 F)	1 面
〃 - 2	(〃)	1 面
〃 - 3	(〃)	1 面
〃 - 4	(〃)	1 面
〃 - 5	(〃)	1 面
XR - 6	(リハビリ棟 B 1 F)	1 面
X線TV室 - 4	(〃)	1 面
8) OA用分電盤		
LR - B - 2 N	(リハビリ棟 B 1 F)	1 面
LR - 1 - 1 N	(リハビリ棟 1 F)	1 面
LR - 1 - 2 N	(リハビリ棟 1 F)	1 面
LR - 1 - 2 N	(〃)	1 面
LR - 2 - 1 N	(リハビリ棟 2 F)	1 面
LR - 2 - 2 N	(〃)	1 面
LR - 3 - 2 N	(リハビリ棟 3 F)	1 面
9) 端子盤		
TR - B - 1	(リハビリ棟 B 1 F)	1 面
〃 - B - 2	(〃)	1 面
〃 - B - 3	(〃)	1 面
〃 - 1 - 1	(リハビリ棟 1 F)	1 面
〃 - 1 - 2	(〃)	1 面
〃 - 2 - 1	(リハビリ棟 2 F)	1 面
〃 - 2 - 2	(〃)	1 面
〃 - 3 - 1	(リハビリ棟 3 F)	1 面
〃 - 3 - 2	(〃)	1 面
〃 - 4 - 1	(リハビリ棟 4 F)	1 面
〃 - 4 - 2	(〃)	1 面
〃 - 5 - 1	(リハビリ棟 5 F)	1 面
10) 照明設備 (非常用照明含む)		
①蛍光灯、サークライン、白熱球等		約 1000 本

②LED照明（直管型、DL、常夜灯・フットライト等）

406台

③外部照明灯（水銀灯等）

約50ヶ所

11) 放送設備

①放送設備（一般放送及び避難誘導放送兼用）

a) 非常、業務兼用ラック形放送装置	FS861-72RB	1台
b) 非常用リモコン 30局	RM861-30C	1台
c) 非常、業務兼用遠隔操作部	EP058R+EP028-20	1式
d) リモートマイクロホン	RM1200	1台
e) スピーカー		306台
f) 電源装置	常用・予備	各1台

②呼出設備

a) 呼出アンプ	2台
b) 呼出マイク	5台
c) スピーカー	4台

12) 信号設備

①インターホン

a) インターホン親機 30局用	1台
b) 同上用子機	13台
c) ドアホン親機、子機	4組

②ナースコール

a) ナースコール親機 80局用	1台
" 20局用	1台
b) 制御機 MMM80	1台
c) アダプタユニット	6台
d) コードレス電話器アダプタ	1台
e) ハンディナースコール親機	1台
" 子機	5台
f) ハンド型子機	5台
g) ナースコール子機	1式
h) 押釦	1式
i) 表示灯	1式

③表示器設備

a) トイレ呼出表示器 10L	2台
" 4L	1台
b) 呼出ボタン	1式
c) 復旧ボタン 表示灯共	1式

13) 電気時計設備

a) 親時計 水晶式 壁掛型 3回路	1面
b) 子時計	99台

14) テレビ共聴設備

a) アンテナ BSアンテナ φ1200 コンバータ付	1組
b) 分配機収納箱 (内、2台はTR-4-2/TR-3-2)	5台
c) 直列ユニット	40個
d) 機器収用箱	50台

15) 防犯設備（監視カメラ設備）

a) 監視カメラ	8台
----------	----

b) セキュリティーゲート	5 組
c) 電気錠	5 台
16) 避雷針設備	
①接地極	4 ヶ所
②避雷突針	
17) 視聴覚室 A V 設備	
音響調整卓 20ch ミキシングコンソール	1 式
映像音声機器架 3面連立	1 式
録音再生ワゴン	1 台
調整室コネクタ盤	1 面
下手袖 //	1 面
上手袖 //	1 面
スライド映写機	1 台
I L A プロジェクター	1 式
資料提示卓 ビデオビューア他	1 式
マイクロホン・スピーカー・信号ケーブル類	1 式

2. 空気調和設備

A. 病院本館（R I 処理槽室、受水槽室他の付属棟を含む）

1) 冷熱源装置

①ガス直炊吸収式冷凍機

川重冷熱工業製 300USRT 冷房 1,055kw 暖房 883kw 3基

②水冷スクリーチラー装置

神戸製鋼所製 熱回収付 165USRT(熱回収時111RT) 冷房 580kw 1基

③高圧ボイラー

川崎重工業製 炉筒煙管式ボイラー

a) 伝熱面積: 24.9 m² 最大蒸発量: 2000kg/h 最高使用圧力: 10kg/cm² 1基

b) 伝熱面積: 17.5 m² 最大蒸発量: 1500kg/h 最高使用圧力: 10kg/cm² 1基

④蓄熱槽

a) 温水槽 容量: 250t 1基

b) 冷水槽 容量: 500t 1基

⑤熱交換器

a) (HEX-1) 熱回収熱交換器 プレート式 交換熱量: 525kW 温水量: 1505l/min 1基

b) (HEX-2) 冷水熱交換器 プレート式 交換熱量: 838kW 冷水量: 2400l/min 1基

c) (HEX-3) 温水熱交換器 プレート式 交換熱量: 628kW 温水量: 1800l/min 1基

d) (HEX-4) 蒸気～温水熱交換器 多管式 交換熱量: 525kW 温水量: 1505l/min 1基

⑥冷却塔

空研工業製 吸収式冷凍機用 11kw×2台 2基

水冷スクリーチラー用 5.5kw×1台 1基

* 冷水/温水はリハ棟との相互バックアップ可能

2) ポンプ類

a) 冷却水ポンプ P-1 5000l/min×45m×75kw 3台

b) 一次冷温水ポンプ P-2 3024l/min×20m×18.5kw 3台

c) 冷却水ポンプ P-14 1505l/min×34m×18.5kw 1台

d) 冷水熱源ポンプ P-4 1665l/min×21m×11kw 1台

e) 温水熱源ポンプ P-5 1505l/min×34m×18.5kw 1台

f) 一次冷水ポンプ P-6-1, 2 1200l/min×24m×7.5kw 2台

g) 一次温水ポンプ P-8-1, 2 900l/min×24m×7.5kw 2台

h) 二次冷温水ポンプ P-3-1~4 1800l/min×30m×15kw 4台

i) 二次冷水ポンプ P-7-1, 2 1200l/min×45m×26kw 2台

j) 冷却バックアップポンプ 400l/min×20.5m×2.2kw 1台

k) 二次温水ポンプ P-9-1, 2 900l/min×45m×15kw 2台

l) 呼水用真空ポンプ P-12 2100l/min×660mmHg×5.5kw 1台

m) ボイラ給水ポンプ P-11 110l/min×8m×7.5kw 2台

n) 真空給水ポンプ P-10 回収ドレン 1.1t/h・吸込空気量 60l/min 1組

到達真空度 60kPa

給水ポンプ: 100l/min×15m×0.75kw

3) 製缶類

a) 冷温水ヘッダー H-6-2, H-3-2 φ500mm×8000l 2基

b) 冷温水ヘッダー H-6-1 φ400mm×3700l 1基

c) 冷水ヘッダー H-4-2 φ300mm×2180l 1基

d) 冷水ヘッダー H-4-1, H-4-3 φ250mm×1750l 2基

e) 冷水ヘッダー H-7 φ250mm×1550l 1基

f) 温水ヘッダー H-5-2	φ 300mm × 1800ℓ	1 基
g) 温水ヘッダー H-5-1, H-5-3	φ 250mm × 1700ℓ	2 基
h) 温水ヘッダー H-8	φ 250mm × 1600ℓ	1 基
i) 蒸気ヘッダー (一次)	φ 250mm × 2500ℓ	1 基
j) 蒸気ヘッダー (二次)	φ 250mm × 3100ℓ	1 基
k) ホットウェルタンク	700 × 2000 × 2300	2 缶
l) 膨張タンク	1500 × 2000 × 1500	1 缶

4) 空気調和機 本館

記 号	系 統	台数	風 量 (m ³ /h)			冷房能力 (kw)	暖房能力 (kw)	送風機動力 (kw)	起動方式	電 源 (φ V)
			S A	R A	O A					
AC- 1	主厨房系統	1	30,800		30,800	208	190	15	L S	3 φ 440V
AC- 2	外来食堂系統	1	3,000		3,000	44	20	2.2	L S	3 φ 440V
AC- 3	解剖室系統	1	2,000		2,000	30	22	1.5	L S	3 φ 440V
AC- 4	女子更衣室系統	1	7,100	4,950	2,150	52	41	3.7	L S	3 φ 440V
AC- 5	管理部（8時間）系統	1	13,500		13,500	194	88	7.5	L S	3 φ 440V
AC- 6	薬剤部系統	1	4,000		4,000	59	38	3.7	L S	3 φ 440V
AC- 7	待合ELVホール系統	1	32,700	27,900	4,800	174	127	15	スターデルタ	3 φ 440V
AC- 8	R I 室系統	1	4,750		4,750	69	51	3.7	L S	3 φ 440V
AC- 9	放射線部系統	1	13,450	6,650	6,800	124	90	11	L S	3 φ 440V
AC-10	外来診察室（北）系統	1	12,500	7,500	5,00	95	39	11	L S	3 φ 440V
AC-11	外来診察室（南）系統	1	14,450	9,000	5,450	104.8	99.9	15	インバーター	3 φ 440V
AC-12	手術室（A）系統	1	4,100	2,000	2,100	53	22	15	L S	3 φ 440V
AC-13	手術室（B・C・D・E）系統	1	3,200		3,200	48	30	3.7	インバーター	3 φ 440V
AC-14	手術室廊下系統	1	7,150		7,150	109	94	5.5	L S	3 φ 440V
AC-15	中央材料室系統	1	6,700		6,700	90	57	3.7	L S	3 φ 440V
AC-16	中央検査部系統	1	5,200		5,200	74	41	3.7	L S	3 φ 440V
AC-17	分娩新生児室系統	1	12,500		12,500	100	49	3.7・3.7	L S	3 φ 440V
AC-18	病棟（東）系統	1	10,500		10,500	149	82	7.5	L S	3 φ 440V
AC-19	病棟（西）系統	1	12,500		12,500	177	97	11	L S	3 φ 440V
AC-21	電気室系統	1	7,000	7,000		35		2.2	L S	3 φ 440V
新 AC-1	手術室（F）系統	1	4,400		4,400	33.17	27.3	3.7	L S	3 φ 210V
新 AC-2	I C U系統	1	5,810		5,810	65.47	40.54	3.7	L S	3 φ 210V

6) パッケージエアコン(本館)

管理番号 (機器番号)	階	設置場所	機器名	機種 型番 室外機	室内機 台数	仕 様				メーカー	設置 年月	備 考
						電源	圧縮機 kw	冷媒 充填量 kg	冷凍 能力			
空・B-1 (PAC-A)	B1F	栄養部 食器洗浄室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RAS-AP80HVMJ	1	1 ^Φ 200V	1.38	R410A 2.4	0.93 トン	日立アプライ アンス	H20-3	第一種特定品
空・B-2	"	" 配膳車溜り	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	PU-P160GA4	2	3 ^Φ 200V	4.2	R407C 4.6	16 kw	三菱電機	H15-3	第一種特定品
空・B-3 (PAC-B)	"	外来食堂・喫茶	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RAS-AP112HVM2	3	3 ^Φ 200V	1.8	R410A 3.5	1.25 トン	日立アプライ アンス	H20-3	第一種特定品
空・B-4 (PAC-C)	"	" 厨房	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RAS-AP80HVMJ	1	1 ^Φ 200V	1.38	R410A 2.4	0.93 トン	日立アプライ アンス	H20-3	第一種特定品
空・B-5 (PAC-20)	"	洗濯保管物消毒室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RYP112P	2	3 ^Φ 200V	2.4	R410A 3.2	10 KW	ダイキン工業	H17-3	第一種特定品
空・B-6 (PAC-1)	"	カルテ管理室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	PUZ-J280FAP	1	3 ^Φ 200V	7.5	R22 10.5	25 kw	三菱電機	H13-9	第一種特定品 定期1/3年
空・B-7 (PAC-2)1	"	コンピューター室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RYP160P	1	3 ^Φ 200V	3.2	R410A 4.3	14 KW	ダイキン工業	H18-1	第一種特定品
空・B-8 (PAC-36-1)	"	"	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZYP224H	1	3 ^Φ 200V	0.9+4.5	R410A 8	20 kw	ダイキン工業	H18-1	第一種特定品
空・B-9 (PAC-36-2)	"	"	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZYP224H	1	3 ^Φ 200V	0.9+4.5	R410A 8	20 kw	ダイキン工業	H18-1	第一種特定品
	"	PET検査室 核医学検査室	ルームエアコン	R22ESS	1	1 ^Φ 100V	0.6	R410A 1.1		ダイキン工業		
空・B-10	"	PET CT	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZRP112BC	1	3 ^Φ 200V	1.95 0.211	R32 3.15	10 kw	ダイキン工業	H30-12	第一種特定品
空・B-11	"	陽電子操作室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZRP80BCT	1	3 ^Φ 200V	1.7 0.07	R32 1.7	7.1 kw	ダイキン工業	H30-12	第一種特定品

管理番号 (機器番号)	階	設置場所	機器名	機種 型番 室外機	室内機 台数	仕 様				メーカー	設置 年月	備 考
						電源	圧縮機 kw	冷媒 充填量 kg	冷凍 能力			
空・B-12	B1F	陽電子操作室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZYP63HT	1	3 ^Φ 200V	1.3	R410A 2.8	5.6 kw	ダイキン工業		第一種特定品
空・B-13	"	体外測定室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZRP56BCT	1	3 ^Φ 200V	1.07 0.07	R32 1.35	5 kw	ダイキン工業	H30-12	第一種特定品
空・B-16	"	体外測定室	除湿器	KFH-P08RB-W	1	1 ^Φ 100V	0.65 0.07	R407C 0.575	0.8 kw	三菱電機	H30-12	第一種特定品
空・B-14 (PAC-B-1)	"	解剖室—西	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RXYP140D	1	3 ^Φ 200V	2.8	R410A 5.2	2.24 トン	三菱電機	H.28-3	第一種特定品
空・B-15 (PAC-1)	"	解剖室—東	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RXYP140D	1	3 ^Φ 200V	2.8	R410A 5.2	2.24 トン	三菱電機	H.28-3	第一種特定品
空・1-20 (PAC-31)	1F	(ER)救急診察処置	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RSXYP400P	14	3 ^Φ 200V	1.1+4.5+4.5	R410A 11.6	6.65 トン	ダイキン工業	H18-1	第一種特定品 定期1/3年
空・1-21 (PAC-30)	"	" 救急外気処理系	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RSXYP280P	—	3 ^Φ 200V	(1.6+4.5)	R410A 8.6	4.61 トン	ダイキン工業	H18-1	第一種特定品
空・1-1	"	中放 一般撮影操作室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	PU-J112GA9	1	3 ^Φ 200V	3	R22 4	11.2 KW	三菱電機		第一種特定品
空・1-2 (PAC-D)	"	" 撮影操作室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RAS-AP40HVMJ2	1	1 ^Φ 200V	0.65	R410A 1.3	0.6 トン	日立アプライ アンス	H20-3	第一種特定品
空・1-3 (PAC-G)	"	" 超音波検査室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RAS-AP40HVMJ2	1	1 ^Φ 200V	0.65	R410A 1.3	0.6 トン	日立アプライ アンス	H20-3	第一種特定品
空・1-4	"	" X線3号マンモ. 骨密	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZZP50BAT	1	3 ^Φ 200V	1.08	R410A 1.4	1.1 トン	ダイキン工業	H22-12	第一種特定品
空・1-5	"	" 前室 1.2	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZZP40BAT	1	3 ^Φ 200V	0.84	R410A 1.4	1.1 トン	ダイキン工業	H22-12	第一種特定品

管理番号 (機器番号)	階	設置場所	機器名	機種 型番 室外機	室内機 台数	仕 様				メーカー	設置 年月	備 考
						電源	圧縮機 kw	冷媒 充定量 kg	冷凍 能力			
空・1-6	"	" 第一x線TV室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZZP112BA	1	3 ^Φ 200V	2.14	R410A 4	1.93 トン	ダイキン工業	H22-12	第一種特定品
空・1-7	"	" 血管造影室アンギオ	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZZP160BA	1	3 ^Φ 200V	3.6	R410A 4	2.41 トン	ダイキン工業	H22-12	第一種特定品
空・1-8	"	" 血管造影室-機械室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZZP63BAT	1	3 ^Φ 200V	1.41	R410A 1.5	1.1 トン	ダイキン工業	H22-12	第一種特定品
空・1-9	"	" CT検査室-1	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZYP224BA	1	3 ^Φ 200V	3.87	R410A 5.9	3.12 トン	ダイキン工業	H22-12	第一種特定品
空・1-10	"	" CT検査室-8号室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZRP112BC	1	3 ^Φ 200V	1.96 0.211	R32 3.15	10 KW	ダイキン工業	H30-12	第一種特定品
空・1-11 (AC-6)	"	読影室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZYP40CAT	1	3 ^Φ 200V	0.84	R410A 1.6	1.1 トン	ダイキン工業	H25-10	第一種特定品
空・1-12 (PAC-J)	"	1Fスタッフルーム	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RAS-AP40HVMJ2	1	1 ^Φ 200V	0.65	R410A 1.3	0.6 トン	日立アプライ アンス	H20-3	第一種特定品
空・1-13 (AC-)1	"	MRI 撮影室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZYP80CAT	1	3 ^Φ 200V	1.76	R410A 1.95	1.1 トン	ダイキン工業	H25-10	第一種特定品
空・1-14 (AC-2)	"	MRI 機械室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RP140CA	1	3 ^Φ 200V	2.4	R410A 2.6	2.13 トン	ダイキン工業	H25-10	第一種特定品
空・1-15 (AC-4)	"	風除室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZYP50CAV	1	1 ^Φ 200V	1.12	R410A 1.6	1.1 トン	ダイキン工業	H25-10	第一種特定品
(AC-3)	"	MRI 操作室	ルームエアコン	R28PEV	1	1 ^Φ 200V	0.75	R32 0.77	2.8 kw	ダイキン工業	H25-10	
空・1-16 (AC-7)	"	ER待合 1	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZYP40CAV	1	1 ^Φ 200V	0.84	R410A 1.6	1.1 トン	ダイキン工業	H25-10	第一種特定品

管理番号 (機器番号)	階	設置場所	機器名	機種 型番 室外機	室内機 台数	仕 様				メーカー	設置 年月	備 考
						電源	圧縮機 kw	冷媒 充填量 kg	冷凍 能力			
空・1-17 (AC-8)	1F	ER待合 2	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZYP40CAV	1	1 ^Φ 200V	0.84	R410A 1.6	1.1 トン	ダイキン工業	H25-10	第一種特定品
空・1-18 (AC-9)	"	MRI 前室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZYP50CAT	1	3 ^Φ 200V	1.12	R410A 1.6	1.1 トン	ダイキン工業	H25-10	第一種特定品
空・1-19	"	MRI 機器設備	チーリングユニット	MCVA-P400E-PMS	1	3 ^Φ 200V	11	R410A 9.6	40 kw	三菱電機	H25-10	第一種特定品 定期1/3年
	"	守衛室	ルームエアコン	R36WEV	1	1 ^Φ 200V	0.95	R32 0.68	2.8 kw	ダイキン工業	R1-9	
	"	耳鼻咽喉科	ルームエアコン	MUZ-ZXV228	1	1 ^Φ 100V	0.6	R410A 0.9	2.2 KW	三菱電機		
空・1-22	"	小児科待合室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZZP224CF	3	3 ^Φ 200V	4.61	R410A 5.9	20 KW	ダイキン工業	H.28-7	第一種特定品
空・1-23	"	小児科中待合室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RXYP224DA	3	3 ^Φ 200V	5.1	R410A 6.3	22.4 KW	ダイキン工業	H.28-7	第一種特定品
空・2-1 (PAC-23)	2F	ICU	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RSXYP450P	6	3 ^Φ 200V	2.7+4.5+4.5	R410A 12.4	6.65 トン	ダイキン工業	H18-1	第一種特定品 定期1/3年
空・2-2 (PAC-26)	"	中検 サーバー室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RYP40PT	1	3 ^Φ 200V	0.8	R410A 1.2	0.74 トン	ダイキン工業	H18-1	第一種特定品
(PAC-H)	"	医師当直室-1	ルームエアコン	RAC-LJS22W	1	1 ^Φ 100V	0.6	R410A 0.87	2.2 KW	日立アプライ アンス	H20-3	
	"	" -2	ルームエアコン	MUCZ-G2217	1	1 ^Φ 100V	0.6	R32 0.5	kw	三菱電機	H30-5	更新
	"	" -3	ルームエアコン	RAC-LJS22W	1	1 ^Φ 100V	0.6	R410A 0.87	2.2 KW	日立アプライ アンス	H20-3	

管理番号 (機器番号)	階	設置場所	機器名	機種 型番 室外機	室内機 台数	仕 様				メーカー	設置 年月	備 考
						電源	圧縮機 kw	冷媒 充填量 kg	冷凍 能力			
	2F	医師当直室-4	ルームエアコン	RAC-LJS22W	1	1 ^Φ 100V	0.6	R410A 0.87	2.2 KW	日立アプライ アンス	H20-3	
	"	" -5	ルームエアコン	RAC-LJS22W	1	1 ^Φ 100V	0.6	R410A 0.87	2.2 KW	日立アプライ アンス	H20-3	
	"	" -6	ルームエアコン	RAC-LJS22W	1	1 ^Φ 100V	0.6	R410A 0.87	2.2 KW	日立アプライ アンス	H20-3	
空・2-3 (CFP-1)	"	OP-B	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RSA-NP140FS	2	3 ^Φ 200V	3	R410A 5.4	2.27 トン	日立アプライ アンス		第一種特定品
空・2-4 (CFP-2)	"	OP-C	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RSA-NP140FS	2	3 ^Φ 200V	3	R410A 5.4	2.27 トン	日立アプライ アンス		第一種特定品
空・2-5 (CFP-3)	"	OP-D	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RSA-NP140FS	2	3 ^Φ 200V	3	R410A 5.4	2.27 トン	日立アプライ アンス		第一種特定品
空・2-6 (CFP-4)	"	OP-E	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RSA-NP140FS	2	3 ^Φ 200V	3	R410A 5.4	2.27 トン	日立アプライ アンス		第一種特定品
空・2-7	"	OPE-B室 1	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZYP80CAT	1	3 ^Φ 200V	1.76	R410A 1.95	1.1 トン	ダイキン工業	H24-6	第一種特定品
空・2-8	"	" 2	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZYP80CAT	1	3 ^Φ 200V	1.76	R410A 1.95	1.1 トン	ダイキン工業	H24-6	第一種特定品
	"	" 3	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	R28NCV	1	1 ^Φ 200V	0.75	R410A 1.2	2.8 KW	ダイキン工業	H24-6	
空・2-9	"	OPE-C室 1	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZYP80CAT	1	3 ^Φ 200V	1.76	R410A 1.95	1.1 トン	ダイキン工業	H25-5	第一種特定品
空・2-10	"	" 2	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZYP80CAT	1	3 ^Φ 200V	1.76	R410A 1.95	1.1 トン	ダイキン工業	H25-5	第一種特定品

管理番号 (機器番号)	階	設置場所	機器名	機種 型番 室外機	室内機 台数	仕 様				メーカー	設置 年月	備 考
						電源	圧縮機 kw	冷媒 充填量 kg	冷凍 能力			
空・2-11	2F	OPE-D室 1	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZYP80CAT	1	3 ^Φ 200V	1.76	R410A 1.95	1.1 トン	ダイキン工業	H25-5	第一種特定品
空・2-12	"	" 2	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RZYP80CAT	1	3 ^Φ 200V	1.76	R410A 1.95	1.1 トン	ダイキン工業	H25-5	第一種特定品
	"	OPE 麻酔医室 休憩室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RAS-AP56HVMJ2	2	1 ^Φ 200V	0.95	R410A 1.3	0.68 トン	日立アプライ アンス	H20-3	
	"	" 更衣室	ルームエアコン	R28NCV	1	1 ^Φ 200V	0.75	R410A 1.2	2.8 KW	ダイキン工業	H20-3	
	"	遺伝子検査室	ルームエアコン	RAC-MJ63K2	1	1 ^Φ 200V	1.7	R32 1.32	6.3 KW	日立ジョンソンC	R2-9	
空・3-1 (PAC-32)	3F	病室 隔離1床 357室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RYP40PT	1	3 ^Φ 200V	0.8	R410A 1.2	3.6 kw	ダイキン工業	H18-1	第一種特定品
空・3-2	"	隔離1床 358室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RYP40PT	1	3 ^Φ 200V	0.8	R410A 1.2	3.6 kw	ダイキン工業	H18-1	第一種特定品
空・3-3	"	隔離1床 360室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RYP40PT	1	3 ^Φ 200V	0.8	R410A 1.2	3.6 kw	ダイキン工業	H18-1	第一種特定品
空・3-4	"	隔離1床 361室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RYP40PT	1	3 ^Φ 200V	0.8	R410A 1.2	3.6 kw	ダイキン工業	H18-1	第一種特定品
(PAC-35)	"	日帰り手術センター	ルームエアコン	R28FNS		1 ^Φ 100V	0.75	R410A 12	3.3 KW	ダイキン工業		
空・4-1 (PAC-33)	4F	病室 個室 437号室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RYP40PV	1	1 ^Φ 200V	0.8	R410A 1.2	4 kw	ダイキン工業	H18-1	第一種特定品
	"	東Nst 器材庫	ルームエアコン	MSZ-SV224	1	1 ^Φ 100V	0.6	R410A 0.75	2.2 kw	三菱電機	H.19-9	

管理番号 (機器番号)	階	設置場所	機器名	機種 型番 室外機	室内機 台数	仕 様				メーカー	設置 年月	備 考
						電源	圧縮機 kw	冷媒 充填量 kg	冷凍 能力			
空・5-1 (PAC-28)	5F	病室 個室 530号室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RYP50PV	1	3 ^Φ 200V	1.1	R410A 1.2	4.5 kw	ダイキン工業	H18-1	第一種特定品
空・5-2 (PAC-29)	〃	個室 531号室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RYP50PV	1	3 ^Φ 200V	1.1	R410A 1.2	4.5 kw	ダイキン工業	H18-1	第一種特定品
空・5-3 (PAC-34)	〃	個室 532号室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RYP40PV	1	1 ^Φ 200V	0.8	R410A 1.2	4 kw	ダイキン工業	H18-1	第一種特定品
空・5-4	〃	個室570号室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RYP40PV	1	1 ^Φ 200V	0.8	R410A 1.2	4 kw	ダイキン工業		第一種特定品
空・5-5	〃	個室571号室	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	RYP40PV	1	1 ^Φ 200V	0.8	R410A 1.2	4 kw	ダイキン工業		第一種特定品

7) 排煙設備

西系統	9区画 (EF-1)	26,000m ³ /h	1式
中央系統	13区画 (EF-2)	36,000m ³ /h	1式
東系統	12区画 (EF-3)	30,000m ³ /h	1式
ICU系統	(SEF-1)	19,200m ³ /h	1式

8) ファンコイルユニット・ファンフィルターコイルユニット

①ファンコイルユニット

a) 床置露出型 (FC)	38台
b) 床置隠蔽型 (FFCR)	19台
c) 天井吊露出型 (FCS)	11台
d) 天井吊隠蔽型 (FCR, WFCR)	7台
e) カセット型 (FCC, FCU)	320台
f) Wコイル型 (WFC, WFCG)	105台

②ファンフィルターコイルユニット

a) 天井埋込カセット型、ビルトイン型 (FFCU)		10台
b) 天吊型 (FU)		5台
u) 2 F 医師当直室 1 ～ 6	冷2.2/暖2.2kw	6組
v) 3 F 日帰り手術センター	冷8.0/暖9.0kw	1組
w) 3 F、5 F 陰圧室	冷4.0/暖5.0kw	6組
x) 4 F、5 F 特別室	冷4.0/暖5.0kw	2組
y) 5 F 無菌室	冷5.0/暖5.6kw	2組

9) エアーシャワー設備

1基

ユニット寸法：1000×1000×2500 風速：25m/sec 電源：3φ200V

パナルバー：φ30×16個 清浄度：クラス100 (プレフィルター及びHEPAフィルター付)

10) 栄養部厨房換気フード

a) 油性処理フード	3基 (計20m ²)
b) 一般処理フード	6基 (計32m ²)

11) 空調用換気扇

a) 5F 無菌室 (隠蔽型)	LSR-20 (200m ³ /h×80Pa)	2台
b) BF洗濯物保管室 (隠蔽型)	LSR-25 (250m ³ /h×80Pa)	1台
c) 4F、5F 西病棟観察室 (隠蔽型)	LSR-30 (300m ³ /h×80Pa)	2台
d) 2F 家族待合室 (隠蔽型)	LSR-40 (400m ³ /h×80Pa)	1台
e) 4F、5F 東病棟観察室 (隠蔽型)	LSR-40 (400m ³ /h×80Pa)	2台
f) 個室 (カセット型)	LS-10 (100m ³ /h×80Pa)	89台
g) 4床室 (カセット型)	LS-15 (150m ³ /h×80Pa)	35台
h) 日帰り手術センター (カセット型)	LS-20 (200m ³ /h×80Pa)	2台
i) 多目的室5、6 (カセット型)	LS-12 (120m ³ /h×100Pa)	2台

B. リハビリテーション棟

1) 冷熱源装置

①ガス直炊吸収式冷凍機

川重冷熱工業製	300USRT	冷房 1,055kw	暖房 883kw	1基
---------	---------	------------	----------	----

②空気熱源スクルーヒートポンプ装置

前川製作所製	冷温水同時取出	150USRT	蓄熱容量 1,000USRT-H	1基
--------	---------	---------	------------------	----

③氷蓄熱槽	容量：88t (1,000Rt)	1基
-------	------------------	----

④熱交換器

a) (HEX-1) 冷水熱交換機	プレート式	交換熱量:348kw	冷水量:000ℓ/min	1基
-------------------	-------	------------	--------------	----

b) (HEX-2) 蒸気～温水熱交換器	多管式	交換熱量:638kw	温水量:1830ℓ/min	1基
----------------------	-----	------------	---------------	----

⑤冷却塔

空研工業製	吸収式冷凍機用	2.2kw×4台	1基
-------	---------	----------	----

* 冷水／温水はリハ棟との相互バックアップ可能

2) ポンプ類

a) 冷却水ポンプ CDP-1	5000ℓ/min×20m×26kw	1台
-----------------	--------------------	----

b) 一次冷温水ポンプ CHP-1	3000ℓ/min×25m×22kw	1台
-------------------	--------------------	----

c) 一次冷水ポンプ CP-1	1000ℓ/min×20m×5.5kw	1台
-----------------	---------------------	----

d) 二次冷水ポンプ CP-2-1	1000ℓ/min×25m×7.5kw	1台
-------------------	---------------------	----

e) 二次冷水ポンプ CP-2-2	1500ℓ/min×25m×11kw	1台
-------------------	--------------------	----

f) 温水二次ポンプ HP-1-1, 2	1830ℓ/min×25m×15kw	2台
----------------------	--------------------	----

g) 薬注装置(ダイヤフラム式)	74mℓ/min×10kg/cm ²	3台
------------------	-------------------------------	----

h) 薬注装置(ダイヤフラム式)	130mℓ/min×10kg/cm ²	1台
------------------	--------------------------------	----

3) 製缶類

a) 冷温水サプライヘッダー HCH-1	φ350mm×2730ℓ	1基
----------------------	--------------	----

b) 冷温水リターンヘッダー HCHR-1	φ350mm×2975ℓ	1基
-----------------------	--------------	----

c) 冷水サプライヘッダー HC-1	φ250mm×2870ℓ	1基
--------------------	--------------	----

d) 冷水リターンヘッダー HCR-1	φ250mm×3135ℓ	1基
---------------------	--------------	----

e) 温水サプライヘッダー HH-1	φ250mm×2980ℓ	1基
--------------------	--------------	----

f) 温水リターンヘッダー HHR-1	φ250mm×3240ℓ	1基
---------------------	--------------	----

g) 高圧蒸気ヘッダー	φ200mm×1750ℓ	1基
-------------	--------------	----

4) 空気調和機 リハ棟

記 号	系 統	台数	風 量 (m ³ /h)			冷房能力 (kcal/h)	暖房能力 (kcal/h)	送風機動力 (kw)	起動方式	電 源 (φ V)
			S A	R A	O A					
AC- 1	M R I 室系統	1	7, 600		7, 600	98, 630	94, 060	3. 7	L S	3 φ 210V
AC- 2	リハビリ室系統	1	4, 550		4, 550	50, 780	48, 430	2. 2	L S	3 φ 210V
AC- 3	待合、廊下系統	1	15, 350	12, 690	2, 660	82, 595	61, 876	5. 5	L S	3 φ 210V
AC- 4	理学療法室系統	1	8, 000		8, 000	89, 280	85, 150	3. 7	L S	3 φ 210V
AC- 5	保育室系統	1	5, 300		5, 300	59, 150	56, 410	3. 7	L S	3 φ 210V
AC- 6	総務課系統	1	8, 760		8, 760	97, 770	93, 240	5. 5	L S	3 φ 210V
AC- 7	スタッフルーム系統	1	6, 100		6, 100	68, 080	64, 930	3. 7	L S	3 φ 210V
AC- 8	病室系統	1	11, 120		11, 120	124, 326	118, 351	5. 5	L S	3 φ 210V
AC- 9	視聴覚室系統	1	8, 670	4, 650	4, 020	77, 988	55, 818	3. 7・3. 7	L S	3 φ 210V
AC-10	講義室系統	1	3, 900		3, 900	43, 530	41, 510	2. 2	L S	3 φ 210V
AC-11	ホワイエ、E Vホール1系統	1	3, 760	3, 330	430	17, 971	13, 085	1. 5・1. 5	L S	3 φ 210V
AC-12	M R I コンピューター系統	1	7, 700			22, 360		2. 2	L S	3 φ 210V
AC-13	電気室 (1) 系統	1	3, 600			27, 591		1. 5	L S	3 φ 210V
AC-14	電気室 (2) 系統	1	5, 000			38, 322		2. 2	L S	3 φ 210V
AC-15	厨房系統	1	4, 500			48, 994		1. 5	L S	3 φ 210V

5) 送排風機 リハ棟

記 号	名 称	系 統	台数	風量 m^3/h	動 力 kw	起動方式	電源 [ϕ V]	設置場所
F-B- 1	給気ファン	空調機械室	1	11,700	3.7	L S	3-200	B 1
2	排気ファン	電気室 (1)	1	5,000	0.75	L S	3-200	
3	排気ファン	自家発電機室	1	3,800	1.5	L S	3-200	
4	排気ファン	電気室 (2)	1	3,600	0.75	L S	3-200	
5	給気ファン	MRI 空調機械室	1	1,700	0.3	L S	3-200	
6	給気ファン	71、72号倉庫	1	1,200	0.3	L S	3-200	
7	排気ファン	76、77号倉庫	1	1,800	0.3	L S	3-200	
8	排気ファン	75号倉庫	1	1,920	0.087	L S	1-100	
9	給気ファン	便所 (中)、HWC	1	1,300	0.3	L S	3-200	
10	排気ファン	MRI ゾーン職員便所	1	100	0.012	L S	1-100	
11	給気ファン	MRI 室緊急排気ファン	1	2,180	0.3	L S	3-200	
12	排気ファン	MRI 室排気ファン	1	1,010	0.08	L S	1-100	
13	給気ファン	内視鏡検査、診察室等便所	1	160	0.012	L S	1-100	
14	(換気扇)	暗室 (内視鏡洗浄室)	1	240	0.025	L S	1-100	
15	排気ファン	X-TV 室	1	710	0.04	L S	1-100	
16	排気ファン	赤外線診断装置室、技師室、画像処理読影室	1	130	0.025	L S	1-100	
17	排気ファン	控室	1	880	0.08	L S	1-100	
EF-1- 1	排気ファン	空調機械室 (西)	1	1,100	0.3	L S	3-200	1 F
2	給気ファン	空調機械室 (東)	1	1,100	0.3	L S	3-200	
3	排気ファン	倉庫 (3) (4)	1	1,090	0.3	L S	1-100	
6	給気ファン	便所 (中)	1	2,500	0.3	L S	3-200	
7	排気ファン	小児便所	1	700	0.3	L S	3-200	
8	排気ファン	保育室便所	1	400	0.08	L S	1-100	

記 号	名 称	系 統	台数	風量m ³ /h	動 力 kw	起動方式	電源 [φ V]	設置場所
E F - 1 - 9	給気ファン	外来治療センター(診察室、相談室、リネンA)	1	650	0.117	L S	1 - 1 0 0	1 F
10	排気ファン	水治療室	1	400	0.075	L S	1 - 1 0 0	
11	排気ファン	神経内科、診察室、カンファレンスルーム	1	1,700	0.3	L S	1 - 1 0 0	
13	排気ファン	保育室休憩室	1	120	0.025	L S	1 - 1 0 0	
14	排気ファン	保護者控室	1	330	0.04	L S	1 - 1 0 0	
15	給気ファン	倉庫	1	150	0.012	L S	1 - 1 0 0	
16	排気ファン	作業理学療法室	1	1,140	0.3	L S	1 - 1 0 0	
17	排気ファン	厨房	1	5,000	1.5	L S	3 - 2 0 0	
19	排気ファン	S T 言語治療室	1	930	0.3	L S	3 - 2 0 0	
21	排気ファン	P T 理学療法室	1	1,200	0.15	L S	3 - 2 0 0	
22	排気ファン	外来治療センター(化学療法室、回復室、スタッフ)	1	900	0.194	L S	3 - 2 0 0	
C F - 1 - 11	排気ファン	診察(ストマ指導)	1	150	0.022		1 - 1 0 0	
F - 2	(換気扇)	A D L 室(和室7.5畳)	1	330	0.036		1 - 1 0 0	
4	排気ファン	80号倉庫	1	強650/弱482	0.119/0.084		1 - 1 0 0	
5	排気ファン	リハビリテーション室、更衣室系統	1	強400/弱273	0.065/0.053		1 - 1 0 0	
E F - 6	排気ファン	リハビリテーション室、診察室系統	1	800	0.145	L S	3 - 2 0 0	
1	排気ファン	外来治療センター(1診、回復室陰圧用)	1	300	0.041		1 - 1 0 0	
2	(換気扇)	外来治療センター(プライミング室)	1	200	0.0225		1 - 1 0 0	
3	(換気扇)	外来治療センター(化学療法室)	1	480	0.046		1 - 1 0 0	
4	排気ファン	外来治療センター(WC、洗浄、リネンB)	1	300	0.041		1 - 1 0 0	
5	排気ファン	外来治療センター(安全キャビネット)	1	1,860	1.5	インバーター	3 - 2 0 0	
O F - 1	給気ファン	外来治療センター(安全キャビネット)	1	1,500	0.518	L S	3 - 2 0 0	
2	給気ファン	外来治療センター(調整室、プライミング室)	1	1,000	0.356		1 - 1 0 0	
	(換気扇)	歯科診察室、相談室、心理検査室1	3	50	0.0049		1 - 1 0 0	

記 号	名 称	系 統	台数	風量m³／h	動 力 kw	起動方式	電源 [φ V]	設置場所	
E F－2－	1	排気ファン	空調機械室（西）	1	1,100	0.3	L S	3－2 0 0	2 F
	2	排気ファン	空調機械室（東）	1	1,100	0.3	L S	3－2 0 0	
	3	排気ファン	空調機械室（早期）	1	1,100	0.3	L S	3－2 0 0	
	4	排気ファン	倉庫（１）	1	300	0.04	L S	1－1 0 0	
	5	排気ファン	湯沸室	1	500	0.04	L S	1－1 0 0	
	6	排気ファン	湯沸室	1	500	0.04	L S	1－1 0 0	
	7	排気ファン	職員用便所	1	2,000	0.3	L S	3－2 0 0	
	8	排気ファン	HWC	1	500	0.15	L S	1－1 0 0	
	9	排気ファン	更衣室（シャワー）	1	400	0.071	L S	1－1 0 0	
	11	排気ファン	研究室、スタッフルーム	1	3,470	0.7	L S	3－2 0 0	
	12	排気ファン	会議室４、内視鏡トレーニング室、スタッフＤ	1	2,120	0.3	L S	3－2 0 0	
	E F－3－	1	排気ファン	空調機械室（西）	1	1,100	0.3	L S	3－2 0 0
2		排気ファン	倉庫	1	150	0.04	L S	1－1 0 0	
3		排気ファン	器具庫－１、２	1	300	0.04	L S	1－1 0 0	
4		排気ファン	湯沸コーナー	1	350	0.04	L S	1－1 0 0	
5		排気ファン	洗面、湯沸室	1	300	0.04	L S	1－1 0 0	
6		排気ファン	WC（一般）、HWC	1	800	0.08	L S	1－1 0 0	
7		排気ファン	HWC（中）、WC（中）	1	2,200	0.3	L S	3－2 0 0	
8		排気ファン	病室WC（北）	1	1,750	0.3	L S	3－2 0 0	
9		排気ファン	病室WC（南）	1	1,950	0.3	L S	3－2 0 0	
10		排気ファン	浴室	1	1,000	0.2	L S	1－1 0 0	
11		排気ファン	HWC、特浴、WC	1	600	0.04	L S	1－1 0 0	
12		排気ファン	特浴	1	1,400	0.2	L S	1－1 0 0	
13		排気ファン	倉庫	1	150	0.025	L S	1－1 0 0	

記 号	名 称	系 統	台数	風量m ³ /h	動 力 kw	起動方式	電源 [φ V]	設置場所
14	排気ファン	準備室	1	300	0.04	L S	1-100	3 F
15	排気ファン	職員WC	1	100	0.012	L S	1-100	
16	排気ファン	病室（北）	1	1,050	0.3	L S	1-100	
17	排気ファン	病室（南）	1	700	0.08	L S	1-100	
18	排気ファン	洗濯室	1	350	0.04	L S	1-100	
19	排気ファン	乾燥室	1	90	0.012	L S	1-100	
E F-4-1	排気ファン	空調機械室（西）	1	1,100	0.3	L S	3-200	4 F
3	排気ファン	倉庫	1	860	0.08	L S	1-100	
4	排気ファン	WC	1	1,700	0.3	L S	3-200	
5	排気ファン	HWC	1	500	0.08	L S	1-100	
6	排気ファン	湯沸し	1	300	0.04	L S	1-100	
7	排気ファン	講義室（1）	1	1,370	0.15	L S	1-100	
8	排気ファン	講義室（2）	1	1,430	0.15	L S	1-100	
9	排気ファン	空調機械室（東）	1	1,100	0.3	L S	3-200	
E F-5-1	排気ファン	空調機械室	1	1,100	0.3	L S	3-200	5 F
2	排気ファン	通路	1	500	0.04	L S	1-100	
3	排気ファン	E L V 機械室（1）	1	2,300	0.4	L S	3-200	
4	排気ファン	E L V 機械室（2）	1	1,200	0.15	L S	3-200	
O F-B-1	給気ファン	空調機械室（1）（2）	1	11,700	1.5	L S	3-200	B 1
2	給気ファン	電気室	1	3,800	1.5	L S	3-200	
3	給気ファン	自家発電機室	1	3,800	1.5	L S	3-200	
5	給気ファン	M R I 空調機械室	1	1,700	0.3	L S	3-200	B 1
O F-4-1	給気ファン	空調機械室（西）	1	1,100	0.3	L S	3-200	4 F
2	給気ファン	空調機械室（東）	1	1,100	0.3	L S	3-200	

記 号	名 称	系 統	台数	風量m ³ /h	動 力 kw	起動方式	電源 [φ V]	設置場所
OF-5-1	給気ファン	空調機械室	1	1,100	0.3	LS	3-200	5F
2	給気ファン	通路	1	500	0.04	LS	1-100	
3	給気ファン	ELV機械室(1)	1	2,300	0.4	LS	3-200	
4	給気ファン	ELV機械室(2)	1	1,200	0.15	LS	3-200	

7) 排煙設備			
西系統	(SEF-1)	36,200m ³ /h	1式
東系統	(SEF-2)	34,100m ³ /h	1式
8) ファンコイルユニット			
a) 天井吊隠蔽型 (FCR, WFCR)			3台
b) カセット型 (FCC, FCU)			232台
c) Wコイル型 (WFC, WFCG)			37台
9) 蓄熱式床暖房			
1Fリハビリテーション室・早期療育ゾーン、3F脱衣室他 計826.5m ²			1式
暖房能力：181kw ヒーター容量：182.2KW			
10) MRI用二次冷却設備			
a) プレート式熱交換器	交換容量	15000kcal/h	1基
b) 密閉式膨張タンク	容量	7.5ℓ	1基
c) ポンプ	片吸込渦巻ポンプ	0.04m ³ /min×39.5m×1.5kw (3φ200V)	1台
11) 空調用換気扇			
a) B1F研究室 (隠蔽型)	1,000m ³ /h×147Pa		1台
b) B1F中央監視室 (隠蔽型)	450m ³ /h×196Pa		1台
c) 1F評価室 (3) (カセット型)	160m ³ /h×110Pa		1台
d) 3F南詰所、2F会議室 (1)、図書室他 (隠蔽型)	240m ³ /h×147Pa		6台
e) 3F準備室、カンファレンス (隠蔽型)	100m ³ /h×147Pa		2台

3. 給排水衛生ガス設備

A. 病院本館（R I 処理槽室、受水槽室他の付属棟を含む）

1) 給水設備

①給水設備

a) 市水受水槽（受水槽室）	70 t（有効水量60 t）	2基
b) 市水高置水槽	30 t	1基
c) 市水揚水ポンプ（受水槽室）本館系統	$\phi 50 \times 600\text{l}/\text{min} \times 50\text{m} \times 11\text{kw}$	2台
〃（受水槽室）リハ棟系統	$\phi 80 \times 600\text{l}/\text{min} \times 50\text{m} \times 11\text{kw}$	2台
d) 飲料水滅菌装置（受水槽室）		1組
	薬注ポンプ：30/min \times 10kg/ \times 65w \times 1台	
	ケミカルタンク：100 $\text{l} \times$ 1基	

②雑用水給水設備

a) 雑用水槽（RC製・地階基礎部利用、消火水槽兼用）		
	北側水槽① 251 m ³	1ヶ所
	北側水槽② 62 m ³	1ヶ所
	南側水槽① 68 m ³	1ヶ所
	南側水槽② 176 m ³	1ヶ所
	南側水槽③ 75 m ³	1ヶ所
b) 雑用水高置水槽	37 m ³	1基
c) 雑用水揚水ポンプ	本館系統 $\phi 80 \times 900/\text{min} \times 50\text{m} \times 15\text{kw}$	3台
〃	リハ棟系統 $\phi 50 \times 450\text{l}/\text{min} \times 40\text{m} \times 5.5\text{kw}$	3台
d) 雑用水滅菌装置（B1F西階段横空調機械室、リハ棟と兼用）		1組
	薬注ポンプ：57/min \times 10kg/ \times 18w \times 2台	
	ケミカルタンク：100 \times 1基	

2) 深井戸設備（井水処理施設）

a) 深井戸水中ポンプ	$\phi 50 \times 200/\text{min} \times 160\text{m} \times 11\text{kw}$	1台
b) 井水送水ポンプ	$\phi 65 \times 500/\text{min} \times 20\text{m} \times 3.7\text{kw}$	2台
c) 逆洗ポンプ	$\phi 80 \times 1000/\text{min} \times 18\text{m} \times 5.5\text{kw}$	1台
d) 薬液注入装置	薬注ポンプ：30cc/min \times 10kg/ \times 65w \times 1台	1組
	ケミカルタンク：100 \times 1基	
e) 井水排水ポンプ	$\phi 80 \times 300/\text{min} \times 18\text{m} \times 2.2\text{kw}$	2台
f) 井水補給水ポンプ	$\phi 65 \times 500/\text{min} \times 8\text{m} \times 1.5\text{kw}$	2台
g) 井水処理槽	24 m ³	1基
h) サンドセパレーター	処理能力 30m ³ /h	1台
i) 濾過器	処理能力 30m ³ /h コンプレッサー 0.4kw	1基
	全自動方式（エアー作動方式）	

3) 排水設備

①R I 処理設備（R I 処理槽室）

a) R I 貯留槽	20 m ³	4基
b) R I 希釈水槽	20 m ³	1基
c) R I 集合槽	1.2 m ³	1基
d) R I 混合槽	4.5 m ³	1基
e) R I 浄化槽	1.3 m ³ （10人槽）	2基
f) 貯留槽ポンプ	$\phi 40 \times 120\text{m}^3/\text{min} \times 15\text{m} \times 1.5\text{kw}$	2台
g) 集合槽ポンプ	$\phi 40 \times 130\text{m}^3/\text{min} \times 15\text{m} \times 0.75\text{kw}$	2台
h) 混合槽ポンプ	$\phi 40 \times 130\text{m}^3/\text{min} \times 15\text{m} \times 1.5\text{kw}$	2台

i) 湧水ポンプ (水中P)	$\phi 40 \times 130 \text{m}^3/\text{min} \times 10\text{m} \times 0.75\text{kw}$	2 台
j) 遠方監視盤及び現場操作盤		各 1 面
②排水処理施設 (排水処理施設)		
a) ルーツブロアー	$\phi 65 \times 2.8 \text{m}^3/\text{min} \times 0.3\text{kg}/\times 3.7\text{kw}$	3 台
b) 調整ポンプ	$\phi 80 \times 0.4 \text{m}^3/\text{min} \times 9\text{m} \times 1.5\text{kw}$	2 台
c) 放流ポンプ	$\phi 80 \times 0.6 \text{m}^3/\text{min} \times 13\text{m} \times 3.7\text{kw}$	2 台
d) モニタリングポンプ	$\phi 50 \times 0.05 \text{m}^3/\text{min} \times 8.5\text{m} \times 0.4\text{kw}$	1 台
e) 薬注ポンプ	$5 \sim 50 \text{cc}/\text{min} \times 0.1\text{kw}$	3 台
f) NaOH 貯留槽	1 0 0 0 ℓ	1 基
g) H ₂ SO ₄ 希釈水槽	1 0 0 0 ℓ	1 基
h) H ₂ SO ₄ 貯留槽	1 0 0 0 ℓ	1 基
i) 攪拌機	0. 7 5 kw	1 台
j) "	0. 2 kw	1 台
k) 各測定装置 (PH・流量・浮遊物濃度・COD)		1 式
l) シロッコファン	$36/\text{min} \times 35\text{mmAq} \times 0.75\text{kw}$	1 台
m) 湧水ポンプ	$32 \phi \times 130/\text{min} \times 10\text{m} \times 0.75\text{kw}$	1 台
n) レントゲン定着液貯溜タンク	1 m ³ (本館に設置)	2 基
4) 衛生器具設備		
a) 滅菌手洗器		2 組
b) 便器		1 3 8 組
() は洗浄機能付便座		(1 1 4 組)
c) 洗面器		1 2 9 組
d) 手洗器		8 6 組
e) 洗面化粧台		1 1 2 組
f) 流司		5 7 組
g) 乳児バス		3 組
h) 洗髪器		6 組
i) 水栓類		3 1 2 組
j) 化粧鏡		1 9 9 組
k) オストメイト用トイレパック		1 組
5) 給湯設備		
a) 貯湯槽	最高使用圧力 蒸気側:5.0kg/cm ² 温水側:50m 伝熱面積:3.0m ²	2 基
b) 給湯循環ポンプ	$32 \phi \times 100\ell/\text{min} \times 8\text{m} \times 0.75\text{kw}$	2 台
c) 電気式給湯器	貯湯式、貯湯容量10ℓ	7 台
d) ガス給湯器	貯湯式、貯湯容量10ℓ	1 台
6) ガス設備		
①配管設備		
a) ルーツメーター	R 1 0 0 0, R 5 0 0	各 1 台
b) 低圧用ガスメーター	N-90, N-50	各 1 台
c) 子メーター		1 6 台
②負荷設備		
ガスコンロ、ブンゼンバーナー 他		1 式
7) 厨房設備		
①栄養部厨房内設備		
		1 式

冷蔵室・冷凍庫・冷凍冷蔵庫
 ポテトピラー・作業台・サイドテーブル
 ピーラーシンク・ドラッド式洗米機
 二槽シンク・舟型シンク・一槽シンク・パンシンク・Z流司台
 ガス炊飯器・グリラー・ガステーブル・ガス回転釜・スूपケットル
 調乳水製造装置・食器洗浄機・蒸し器 他

*上記機器には、給水・給湯・排水・ガス等の配管が接続されている。

8) ゴミ貯留システム（日本クリーンシステム製）

①本体	日本クリーンシステム GMN-10000型反転装置仕様 ロータリードラム式（SUS304製） 貯留能力：14.4m ³ 反転装置動作能力：200kg	1基
②コンテナ	キャスター付きカート（SUS304製） 実容量：300ℓ	20台
③排水設備	水中ポンプ YU4-406-0.25SL	2台

B. リハ棟

1) 給水設備

①給水設備		
市水高置水槽	12t	1基
②雑用水給水設備		
雑用水高置水槽	5t	1基

2) 衛生器具設備

a) 便器	156組
() は洗浄機能付便座	(116組)
b) 洗面器	82組
c) 手洗器	15組
d) 洗面化粧台	12組
e) オストメイト用トイレパック	1組

3) 給湯設備

a) 貯湯槽	最高使用圧力 蒸気側:5.0kg/cm ² 温水側:50m 伝熱面積:3.0m ² φ1400×h3100	1基
	φ1400×h3100 (圧力2kg/cm ²)	2基
b) 電気式給湯器	貯湯式、貯湯容量10ℓ	5台
c) 給湯一次ポンプ	φ40×230ℓ/min×15m×1.5kw	1台
d) 給湯二次ポンプ	φ25×20ℓ/min×10m×0.25kw	2台

4) ガス設備

a) ルーツメーター	CRPC-125	1台
c) 子メーター		1台

5) 厨房設備（1F早期療育ゾーン）

冷凍冷蔵庫・包丁まな板殺菌庫・食器消毒保管庫・二槽シンク	1式
三槽シンク・ガスマイコンコンベック・ガス炊飯器	
ガスコンロ・ガステーブル 他	

*上記機器には、給水・給湯・排水・ガス等の配管が接続されている。

6) 濾過循環設備

連日使用型循環式浴槽 (3 階南病棟)

1 組

浴槽容量 : 4.6 1 m³ (水深 4 5 cm)

濾過水量 : 1 3 m³ / h (濾過ポンプ 1 3. 2 / h)

濾過能力 : 2. 8 回 / h

濾過方式 : 砂式

濾材 : 珪砂

薬注装置付

C. 病院本館及びリハ棟

1) 冷凍庫・冷蔵庫(第1種特定品)

管理番号 (機器番号)	階	設置場所	機器名	機種 型番 室外機	仕 様				メーカー	設置 年月
					電源	圧縮機 kw	冷媒 充填量 kg	冷凍 能力		
冷・B-17	B1F	栄養部 下処理室	フレハブ 冷蔵ユニット	ERA-RP15B	3 ^Φ 200V	1.5	R404A 1	2.4 KW	三菱重工	R1-7
冷・B-9	〃	〃 〃	フレハブ 冷凍ユニット	PCU-SV300LU	3 ^Φ 200V	消費電力 2.30kW	R404A 3.0		パナソニック	H27-6
	〃	〃 〃	製氷機	FM-120D	1 ^Φ 100V	0.3	R134A		ホシザキ	
	〃	〃 調理室	リーチン冷蔵 ショーケース	RS120T-4G	1 ^Φ 100V	0.4	R22 0.34		ホシザキ	
冷・B-2	〃	〃 〃	リーチン冷凍 ショーケース	FS-63X3-1	3 ^Φ 200V	0.29	R404A 0.4		ホシザキ	
冷・B-3	〃	〃 〃	検食用冷蔵庫	HF-63CZT-KS	1 ^Φ 100V	0.255	R404A 0.2		ホシザキ	
冷・B-1	〃	〃 〃	業務用冷蔵庫	HR-150Z3	3 ^Φ 200V	0.28	R134A		ホシザキ	
	〃	栄養部 調理室	リーチン冷凍 ショーケース	MRF-60GEMTR	1 ^Φ 100V	0.75	R22 0.75		フクシマ	H.8-3
冷・B-5	〃	喫茶	業務用 台下冷蔵庫	RT-120FNC	1 ^Φ 100V	0.18	R134A 0.21		ホシザキ	
	〃	外来食堂 厨房	業務用 冷蔵庫	RCW-40RS	1 ^Φ 100V	0.13	R12 0.16		フクシマ	

管理番号 (機器番号)	階	設置場所	機器名	機種 型番 室外機	仕 様				メーカー	設置 年月
					電源	圧縮機 kw	冷媒 充填量 kg	冷凍 能力		
冷. B-4	B1F	〃 〃	業務用 冷蔵庫	URD-40RM	1 ^Φ 100V	0.19	R134A 0.21		フクシマ	H.18-7
	〃	〃 〃	業務用 冷凍庫	HF-63S	1 ^Φ 100V	0.4	R22 0.36		ホシザキ	
	〃	〃 〃	業務用 冷凍冷蔵庫	SRR-U1261CH	1 ^Φ 100V	0.435	R22 .26+.34		三洋電機	
	〃	霊安室	プレハブ 低温冷蔵庫	OCU-R101P	3 ^Φ 200V	0.75	R22 1.2		三洋電機	H.15-
冷. B-6	〃	薬剤部	プレハブ 低温冷蔵庫	UFNRH830SF	3 ^Φ 200V	0.75	R404A 1.2		パナソニック	H-26-2
冷. B-7	〃	〃 〃	業務用 冷蔵庫ショーケース	FMS-700GE3	1 ^Φ 100V	0.47	R404A 0.24		フクシマ	H.16-11
冷. B-8	〃	〃 〃	業務用 冷蔵庫ショーケース	FMS-400GU1	1 ^Φ 100V	0.51	R404A 0.24		フクシマ	H.16-11
冷.B-13	〃	本館マニホールド室	除湿機	IDU8E-20-X180	1 ^Φ 200V	0.405	R134a 0.28		SMC	H28-8
冷.B-14	〃	本館マニホールド室	除湿機	IDU8E-20-X180	1 ^Φ 200V	0.405	R134a 0.28		SMC	H28-8
冷・LB-1	〃	リハ棟マニホールド室	除湿機	INOD-333X6	1 ^Φ 100V	0.45	R134a 0.17		KAWASAKI	
	1F	リハ棟あいあい園 厨房	冷凍庫	F-54	1 ^Φ 100V	0.07	R134A 0.105		三ツ星貿易	

管理番号 (機器番号)	階	設置場所	機器名	機種 型番 室外機	仕 様				メーカー	設置 年月
					電源	圧縮機 kw	冷媒 充填量 kg	冷凍 能力		
	1F	リハ棟あいあい園 厨房	冷凍 冷蔵庫	NRC370M-S	1 ^Φ 100V	0.098	R600A 0.055		パナソニック	
冷・2-3	2F	中央検査部 滅菌洗浄室	超低温 フリーザー	MDF-C8V1	1 ^Φ 100V	0.34	R245fa 0.39		三洋電機	
冷・2-4	〃	〃 〃	バイオメディカル フリーザー	MDF-U730M	1 ^Φ 100V	0.26	R404A 0.4		三洋電機	
	〃	〃 〃	製氷機	FM-120	1 ^Φ 100V				ホシザキ	
冷・2-6	〃	〃 臨床化学検査室	超低温 フリーザー	MDF-193TT	1 ^Φ 100V	0.37	R245fa 0.39		パナソニック	
冷・2-7	〃	〃 〃	血液 保冷库	MDR-107T4-PJ	1 ^Φ 100V	0.142	R134a 0.082		パナソニック	
	〃	〃 〃	バイオメディカル フリーザー	MDF-235	1 ^Φ 100V	0.148	R502 0.285		三洋電機	
冷・2-8	〃	〃 〃	血液 保冷库	MDR-506T	1 ^Φ 100V	0.31	R412A 0.105		三洋電機	
冷・2-9	〃	〃 〃	血液 保冷库	MDR-506T	1 ^Φ 100V	0.31	R412A 0.105		三洋電機	
	〃	〃 〃	メディカル	MPR-213F	1 ^Φ 100V					H.11-9
冷・2-10	〃	〃 〃	リーチン冷蔵 ショーケース	RF-180X-6G	1 ^Φ 100V	0.645	R404A 0.35		ホシザキ	

管理番号 (機器番号)	階	設置場所	機器名	機種 型番 室外機	仕 様				メーカー	設置 年月
					電源	圧縮機 kw	冷媒 充填量 kg	冷凍 能力		
	2F	標本整理室	フル型 ストッカー	FSU-CST-1000	1 ^Φ 100V				近藤工業	H26-11
	〃	〃	メディカル フリーザー		1 ^Φ 100V				三洋電機	
	〃	ICU	フリーザー保冷库	MPR-411FR	1 ^Φ 100V	.16+.16	TP5R		三洋電機	H.26-8
冷・2-1	〃	OPE 無菌通路	メディケール	MPR-414F	1 ^Φ 100V	0.388	R134a 0.085		ホシザキ	

4. 防災設備

(病院本館及びリハ棟)

1) 自動火災報知設備 (消防法による自動火災報知設備)

自動・手動感知、リハ棟複合型受信盤に出力

①表示器	R型	12台
②中継器	R型	162台
③感知器		1368個
④総合盤	発信機・表示灯	66台

2) 消火設備

①屋内消火栓設備

a) 消火栓ポンプ	φ80×750ℓ/min×60m×15kw	1台
b) 消火栓箱	ホース、ノズル	32台

②スプリンクラー設備

a) スプリンクラー用ポンプ	φ80×750ℓ/min×60m×15kw	1台
b) スプリンクラーヘッド	マルチ型72℃、96℃	3661個
c) 圧力タンク	100ℓ型	1式
d) 制御弁 (アラーム弁)		16機
e) 補助散水栓		27台

③ハロゲン化物消火設備

a) ハロゲン化物容器	70ℓボンベ	16本
b) 容器弁解放装置		16個
c) 選択弁		5台
d) 起動用操作箱		6組
e) 警報装置		1台
f) ホーン・ノズル		50個
g) 放出表示灯		18個
h) 感知器 (熱・煙)		4個
i) 手動式消火設備	70ℓボンベ、ホース20m	1組
j) キャビネット組込型消火設備	69ℓボンベ、放出ホーン2基	1組

④二酸化炭素消火設備

a) 二酸化炭素容器	70ℓボンベ	28本
b) 容器弁解放装置		28個
c) 選択弁		3台
d) 起動用操作箱		3組
d) 警報装置		1台
e) ホーン・ノズル		11個
f) 放出表示灯		10個
g) 感知器 (熱)		31個

⑤ダクト消火設備

a) 装置本体 (子機)		41基
b) 感知器		24個
c) ノズル		101台

⑥連結送水管設備

a) 送水口		3組
b) 放水口		13組

⑦厨房フード用簡易消火設備

a) レンジ・フライヤー用簡易消火設備		2組
b) フード・ダクト用簡易消火設備		2組

3) 避難誘導設備

①誘導灯設備

- | | |
|---------|---------|
| a) 誘導灯 | 2 4 3 台 |
| b) 誘導標識 | 1 枚 |

②避難器具

- | | |
|-------------|-----|
| a) 救助袋（斜降式） | 6 基 |
| b) 金属梯子 | 1 基 |

4) 消防機関へ通報する火災報知設備

- | | |
|-------------------------|-----|
| 自動通報装置（箕面市消防本部への自動通報装置） | 1 台 |
|-------------------------|-----|

5) 防火防排煙設備

- | | |
|---------------|---------|
| ①防火扉（片開き） | 2 3 ケ所 |
| ②防火扉（両開き） | 2 0 ケ所 |
| ③防火防煙シャッター | 1 3 ケ所 |
| ④可動垂れ壁（自動閉鎖式） | 2 2 ケ所 |
| ⑤防火ダンパー | 5 0 ケ所 |
| ⑥排煙口（自動閉鎖式） | 7 8 ケ所 |
| ⑦煙感知器 | 1 9 6 台 |
| ⑧排煙機起動盤 | 6 面 |

6) ガス漏れ火災警報設備

リハ棟複合型受信盤に出力

- | | |
|------|-------|
| ①検知器 | 2 0 個 |
| ②中継器 | 2 台 |

5. 医療ガス設備

A. 病院本館（R I 処理槽室を含む）

1) 液酸タンク

- | | | |
|--------|-----------|-----|
| ①液酸タンク | 1 2 0 0 ℓ | 1 基 |
| ②蒸発器 | | 1 組 |

2) 中央配管設備

- | | | |
|---------------------|---------------------------------|---------|
| ①酸素マニホールド | 2 列 8 本立 | 1 組 |
| ②レシーバータンク | 1 0 0 0 ℓ | 1 基 |
| ③吸引ポンプ | 3 φ 220V 3.7kw | 2 台 |
| ④コンプレッサー | 吐出圧力 7 kg/cm ² 3.7kw | 2 台 |
| ⑤笑気マニホールド | 2 列 4 本立 | 1 組 |
| ⑥クリーンフィルター、エアードライヤー | | 各 2 組 |
| ⑦圧縮フィルター、除菌フィルター | | 各 2 組 |
| ⑧窒素マニホールド | 2 列 8 本立 | 1 組 |
| ⑨窒素マニホールド | 簡易式 | 1 組 |
| ⑩アウトレット | 壁型アウトレット | 6 3 5 個 |
| | 手動リール型アウトレット | 3 0 個 |
| | シーリングコラム | 6 組 |
| | 余剰ガス排出アウトレット | 5 個 |
| ⑪シャットオフバルブ | | 3 2 個 |

B. リハ棟

1) 中央配管設備

①酸素マニホールド	2列8本立	1組
②レシーバータンク	1000ℓ	1基
〃	300ℓ	1基
③吸引ポンプ	3φ 220V 0.75KW	2台
④コンプレッサー	吐出圧力 7kg/cm ² 0.75KW	2台
⑤アウトレット	壁型アウトレット	84個
⑥メインシャットオフバルブ		6台
⑦エアークリーンユニット		1台

6. 昇降機設備

A. 病院本館

①本館1号E L V	乗用(1000kg) 15人乗 15kw 7階床停止 60m/min 車椅子仕様、管制運転(地震、火災、停電)、戸開走行保護装置	1基
②本館2号E L V	寝台用(1000kg) 14人乗 11kw 7階床停止 60m/min 2方向出入口、車椅子仕様、管制運転(地震、火災、停電)、戸開走行保護装置	1基
③本館3号E L V	寝台用(750kg) 11人乗 7.5kw 7階床停止 60m/min 車椅子仕様、管制運転(地震、火災、停電)、戸開走行保護装置	1基
④本館4号E L V	人荷用(1150kg) 17人乗 15kw 6階床停止 60m/min 配膳用、地震管制装置(S波)	1基
⑤本館5号E L V	荷物用(750kg) 30kw 2階床停止 45m/min 無人搬送車用、ドア光電管センサー	1基

B. リハ棟

①リハ棟1号E L V	寝台用(1750kg) 26人乗 15kw 5階床停止 90m/min 車椅子仕様、専用運転装置、音声合成装置、火災管制装置、地震管制装置(S波)	1基
②リハ棟2号E L V	寝台用(1750kg) 26人乗 15kw 5階床停止 90m/min 車椅子仕様、専用運転装置、音声合成装置、火災管制装置、地震管制装置(S波)	1基
③リハ棟3号E L V	荷物用(750kg) 7.5kw 5階床停止 45m/min 2方向出入扉、火災管制装置、地震管制装置(S波)、ドア光電管センサー	1基

7. 搬送設備

(本館(1)を除く))

1) 単管自動気送管設備(エアーシューター)

病棟等の各種伝票・処方箋・書類等の搬送を行う。

a) 制御装置	自動制御盤、CRT制御盤、運転制御盤等	1式
b) 動力装置	排風機	1組
c) 搬送装置	ステーション	12ヶ所
	気送子	1式

2) 自動小荷物専用昇降機設備

病棟等の医療器材・薬品搬送(50kg以内)を行う。

a) 制御装置	自動制御盤	1組
b) 搬送装置	ステーション	14ヶ所
	巻揚ユニット	2組

c) 付属装置 インターホン 1 式

3) 小荷物専用昇降機設備

①カルテ搬送用（医療サービスと診療情報管理室の書類搬送を行う。）

a) 制御装置 自動制御盤 1 組
 b) 搬送装置 ステーション 2 ヶ所
 巻揚ユニット 1 組
 c) 付属装置 インターホン 1 式

②検体搬送用（一般検査室と臨床化学検査室の検体搬送を行う。）

a) 制御装置 自動制御盤 1 組
 b) 搬送装置 ステーション 2 ヶ所
 巻揚ユニット 1 組
 c) 付属装置 インターホン 1 式

8. 中央監視設備

（リハ棟中央監視室）

1) 監視制御機器

①受電盤 1 面
 ②自動火災報知設備監視盤 1 面
 ③防排煙操作盤 1 面
 ④非常放送設備盤 1 面
 ⑤親時計盤 1 面
 ⑥エレベーター監視盤 1 面
 ⑦排水処理中央監視盤 1 面
 ⑧搬送設備運行表示盤 1 面
 ⑨ハロン 1301 消火設備制御盤 1 面
 ⑩可燃性ガス警報器 1 面

2) 電源装置

各監視制御機器用直流電源及び交流無停電電源装置（UPS） 1 式

9. 自動ドア

A. 病院本館

1) 地階 (計 5 基)
 a) 栄養部 搬送通路 ナブコ DS-51 (S) 2 基
 b) 薬剤部 製剤室 ナブコ DS-21 (D) 1 基
 c) " 注射薬混合室 ナブコ DS-75 (S) 1 基
 d) 理容店 ナブコ DS-21 (S) 1 基

2) 1 階 (計 9 基)
 a) 正面玄関 風除室内側 ダイハツ EDM18NIIFA 2 基
 b) " 風除室外側 " 2 基
 c) 救急・時間外出入口 風除室内側 ダイハツ (D) 1 基
 d) " 風除室外側 ナブコ DS-75 (D) 1 基
 c) ER 便所 ナブコ DS-60 (S) 1 基
 d) " 東側 ナブコ DS-60 (S) 1 基
 e) 採血前多目的便所 ナブコ DS-65 (S) 1 基

3) 2階

(計26基)

a) 手術部	手術室(A)～(E)	ダイハツ(D)	各1基
b) "	手術室(E)西側	ダイハツ(S)	1基
c) "	手術室(F)	ナブコ DSN-75D	1基
d) "	出入口	ダイハツ(2S)	1基
e) "	通路	ナブコ DS-41(D)	1基
f) "	洗浄室北側	ダイハツ(開き戸)	1基
g) "	洗浄室南側	ナブコ DS-60(2S)	1基
h) 器材薬品庫北側		ナブコ DS-41(S)	2基
i) "	南側	ナブコ DS-75(S)	1基
j) 組立室前室		ダイハツ(D)	2基
k) 滅菌材料室北側		ナブコ DS-60(S)	1基
l) "	南側	ナブコ DS-75(S)	1基
m) リネン前		ナブコ DS-60(S)	1基
n) AGVステーション北・南側		ナブコ DS-75(D)	各1基
o) "	東側	ナブコ DS-41(S)	1基
p) ICU個室1		ナブコ DS-11(S)	2基
q) "	個室2	ナブコ DS-11(S)	1基
r) "	出入口	ナブコ DS-41(2S)	1基

4) 3階

(計11基)

a) 東病棟職員用便所、LD室前便所、新生児室、身障者用便所	ナブコ DS-60(S)	各1基
b) 西病棟職員用便所、女性用便所、未熟児室前室北・西、未熟児室	ナブコ DS-60(S)	各1基
c) " 身障者用便所東	ナブコ DS-60(2S)	1基

5) 4階

(計6基)

a) 東病棟職員用便所、身障者用便所北・南	ナブコ DS-60(S)	各1基
b) 西病棟職員用便所、身障者用便所北・南	ナブコ DS-60(S)	各1基

6) 5階

(計11基)

a) 東病棟職員用便所、身障者用便所北・南	ナブコ DS-60(S)	各1基
b) " 530号・531号	ナブコ MM-50(S)	各1基
c) 西病棟職員用便所、身障者用便所北・南	ナブコ DS-60(S)	各1基
d) " 570号・571号・前室	ナブコ MM-50(S)	各1基

B. リハ棟

1) 地階

(計1基)

a) 西側自動搬送通路	ナブコ DS-21(D)	1基
-------------	--------------	----

2) 1階

(計10基)

a) 東側出入口	ナブコ DS-75(S)	1基
b) 西側風除室	ナブコ DS-75(D)	各1基
c) 理学療法室	ナブコ DS-11(D)	1基
d) 作業療法室	ナブコ DS-75(S)	2基
e) あいあい園風除室	ナブコ DS-21(D)	2基
d) " 西側出入口	ナブコ DS-21(D)	1基
f) " 南側	ナブコ DS-21(S)	1基

3) 3階

- a) 南病棟詰所・集繕室
- b) " 身障者用便所北・南
- c) " 食堂

ナブコ DS-11 (S)
 ナブコ DS-60 (S)
 ナブコ DS-21 (D)

(計6基)

各1基
 各1基
 2基

2. 医 師 住 宅

1. 電気設備

1) 幹線動力設備

①引込開閉器盤			1 面
屋外防水型	動力：3φ3W210V	MCB30AT	
	電灯：1φ3W210-105V	MCB250AT×1 MCB30AT×1	
②動力盤	M-P		1 面
③分電盤	共 用		1 面
④各戸盤			6 面
⑤積算電力量計			6 台

2) 電灯コンセント設備

照明器具	共 用	1 3 台
	各 戸	9 台

3) 弱電設備

①電話設備		
a) 局線用アウトレット		6 個
b) 内線電話機		6 台
②テレビ共聴設備		
a) ブースター		1 台
b) 分配器		1 台
c) 直列ユニット		1 2 個
③玄関チャイム		6 組

2. 給排水衛生ガス設備

1) 給水設備

①受水槽 4 m ³		1 基
②加圧給水ユニット		1 組
ポンプ：40φ×120ℓ/min×3.0 kg/cm ² ～3.7 kg/cm ² ×2.2kw×2 台(空転防止付)		
制御盤 圧力タンク		
③隔測メーター	量水器×6 台 表示盤×1 面	1 式
④散水栓		1 ケ所

* 受水槽の警報は病院中央監視室監視盤に表示

2) 排水設備

雑排水・汚水・雨水の分流方式。(雑排水・汚水は屋外会所で合流)

3) 衛生器具設備

a) 水洗類	3 0 台
b) 便器	6 台
c) 浴槽	6 槽
d) 天井用換気扇	1 2 台

4) ガス設備

①配管設備

ガスメーター	7号	6台
--------	----	----

②負荷設備

a) 浴槽給湯器	大阪瓦斯 パックイン	6台
----------	------------	----

b) ガス瞬間湯沸器		6台
------------	--	----

c) ガスコンロ		6台
----------	--	----

別添 巡視点検基準表 1 (建築)

区 分	点 検 項 目	点 検 内 容		周期	備 考
1. 外部	1. 陸屋根	① 排水状態の良否を点検する。		1 M	清掃は別途
		② 堆積物及びごみの有無を点検する。		1 M	
		③ 植物の有無を点検する。		1 M	
	2. ルーフドレイン 及びとい	① 排水状態の良否を点検する。		1 M	清掃は別途
		② さび及び腐食の有無を点検する。		1 M	
		③ 破損及び漏水の有無を点検する。		1 M	
	3. トップライト	① 傷、割れ、変形及び破損の有無を点検する。		3 M	
		② さび及び腐食の有無を点検する。		3 M	
	4. 外壁	仕上げ材の異常の有無を点検する。		3 M	
	5. 屋外階段	① 排水状態の良否を点検する。		3 M	
		② 通行の妨げになる物品の有無を点検する。		3 M	
	6. バルコニー	排水状態の良否を点検する。		3 M	清掃は別途
	7. 視覚障害者誘導用 点字ブロック	誘導路の妨げになる障害物の有無を点検する。		1 D	
2. 内部	1. 建具	a. 扉枠及び シャッター	① 建具及びその周囲からの漏水の有無を点検する。	3 M	ガラス入り建具のみ
			② 異常音の有無を点検する。	3 M	
			③ 施錠状況の良否を点検する。	3 M	
			④ ガラス部分の傷、破損等の有無を点検する。	3 M	
		b. 窓及び枠	① 建具及びその周囲からの漏水の有無を点検する。	3 M	
			② 異常音の有無を点検する。	3 M	
			③ 施錠状況の良否を点検する。	3 M	
			④ 有害な影響を与える結露の有無を点検する。	3 M	
			⑤ 開閉動作状況の良否を点検する。	3 M	
			⑥ ガラスの傷及びひび割れの有無を点検する。	3 M	

別添 巡視点検基準表 1 (建築)

区 分	点 検 項 目	点 検 内 容	周 期	備 考
2. 内部	2. エキスパンジョイント金物	建物間の隙間の変位追従状態を点検する。	3 M	
	3. 内壁・柱・はり	① 外部に面する室内側壁のひび割れ、かび、結露及び漏水の有無を点検する。	1 Y	
		② 付属物の取付け状態及び損傷等の有無を点検する。	1 Y	
		③ 仕上材の剥離、欠け、汚れ、浮き及び変退色の有無を点検する。	1 Y	
		④ 手すりの取り付け状態、破損の有無を点検する。	1 M	
		⑤ 便所へだて及び扉の変形、破損の有無、開閉状態、金物の取付け状態を点検する。	1 M	
	4. 内部天井	① 最上階、外部に面する室及び水使用室の直下階にあっては、漏水の有無を点検する。	1 M	
		② 付属物の取付け状態及び損傷等の有無を点検する。	1 Y	
		③ 仕上材の剥離、欠け、汚れ、浮き及び変退色の有無を点検する。	1 Y	
		④ 点検口の取り付け状態及び開閉状態の良否を点検する。	1 Y	
	5. 内部床	① 仕上材のひび割れ、欠け、浮き、剥離、摩耗及び変退色の有無を点検する。	1 Y	
		② 段差、不陸及びあばれの有無を点検する。	1 Y	
		③ 排水状態の点検をする。	1 Y	ウエット方式の床のみ
		④ 点検口の取り付け状態及び開閉状態の良否を点検する。	1 Y	
		⑤ ピット内の排水状態の良否を点検する。	1 Y	
	6. 内部階段	① 手すりの取り付け状態、破損の有無を点検する。	1 M	
		② ノンスリップの取り付け状態、損傷、摩耗、脱落の有無を点検する。	1 M	
		③ 床・壁・天井は3. ～5. の各項目による。	1 Y	

別添 巡視点検基準表 1 (建築)

区 分	点 検 項 目	点 検 内 容	周 期	備 考
3. 外構	1. 擁壁	① ひび割れ、欠損、さび汁、エフロレッセンス、はらみ及び剥落の有無を確認する。	1 Y	
		② ①が認められる場合は、安全に作業できる範囲でテストハンマー等で軽打を行い、浮き及び剥離の範囲を確認する。	1 Y	
		③ 異常なたわみ、そり及び振動の有無を点検する。	1 Y	
		④ 水抜き孔のつまりの有無を確認する。	1 Y	
		⑤ 擁壁の天端の状態を点検する。	1 Y	
	2. アスファルト舗装及びコンクリート舗装	ひび割れ、段差、不陸、陥没等の有無を点検する。	6 M	
	3. 平板・タイル・インターロッキング舗装、縁石及び視覚障害者誘導ブロック等	ひび割れ、欠け、不陸、あばれ、がたつき及び陥没の有無を点検する。	6 M	
	4. 門扉	① 作動状態の良否及び損傷の有無を点検する。	1 Y	
		② さび及び腐食の有無を点検する。	1 Y	
		③ 取付け状態の良否を点検する。	1 Y	
	5. 排水管、マンホール、側溝及び街きよ	① 排水状態の良否を点検する。	6 M	
		② 側溝及び街きよの破損の有無を点検する。	6 M	
		③ 排水樹と排水管との接続部分のずれ及び損傷の有無を点検する。	1 Y	
		④ 排水樹及びマンホールの蓋の破損の有無を点検する。	1 Y	
		⑤ 排水樹、マンホール及び蓋に付属する金物の取付状態の良否、及び腐食の有無を点検する。	1 Y	

別添 巡視点検基準表 2 (電気設備)

区 分	点 検 項 目	点 検 内 容	周期	備 考
1. 受変電設備	1. 断路器	① 接触部の過熱、変色、汚損等の有無を点検する。	1 D	
		② がいしの汚損、異物の付着、損傷の有無を点検する。	1 M	
		③ がいしの清掃を行う。	6 M	
	2. 遮断器 開閉器	① 汚損、きれつ、過熱、発錆、損傷等の有無を点検する。	1 D	
		② 異音、異臭等の有無を点検する。	1 W	
		③ 操作装置の機能確認を行う。	1 M	
		④ 清掃及び機械機構の注油を行う。	6 M	
		⑤ 開閉表示状態（指示、点灯）を確認する。	1 M	
	3. 母線	① 母線の高さ、たるみ、他物との離隔距離の良否を点検する。	1 D	
		② がいし類、支持物等の損傷等の有無を点検する。	1 D	
	4. バスダクト	① 高さ、たるみ、他物との離隔距離の良否を点検する。	1 D	
		② 腐食、過熱等、接続部分及び支持物等の損傷の有無を点検する。	1 D	
	5. 変圧器	① 異音、異臭、漏油、異常振動等の有無を点検する。	1 D	漏油の点検は油入変圧器のみ
		② 付属装置の動作、取付状態の良否を点検する。	1 W	
		③ 絶縁油の汚損の良否を点検する。	1 M	
		④ 外部の清掃を行う。	6 M	
	6. 計器用 変成器	① 汚れ、損傷、亀裂、過熱、変色、漏油等の有無を点検する。	1 W	
		② 接続部の変色の有無を点検する。	1 W	
		③ 接地線の外れ、断線等の有無を点検する。	1 W	
	7. 盤類（配電盤・パイプフレーム・さく等）	① 扉の開閉の良否及び施錠の有無を点検する。	1 D	
		② 汚損、損傷、変形、亀裂、塗装の剥離及びさびの有無を点検する。	1 D	
		③ ボルトの緩みの有無を点検する。	1 M	
		④ 雨水進入、ほこり等の堆積状態を点検する。	1 M	
		⑤ 標識の汚損及び取り付け状態を点検する。	1 M	
		⑥ 信号灯、表示灯類をランプチェックで確認する。	1 D	
		⑦ 各計器の表示値の適否を点検する。	1 D	
		⑧ 内外部の清掃を行う。	6 M	

別添 巡視点検基準表 2 (電気設備)

区 分	点 検 項 目	点 検 内 容	周期	備 考
1. 受変電設備	8. 電力用コンデンサー	① 異音、異臭、変形、ふくらみ等の有無を点検する。	1 W	
		② 外部の清掃を行う。	6 M	
2. 非常用発電設備	1. 非常用発電装置	① 燃料油及び潤滑油の漏れの有無を点検する。	1 D	
		② 冷却水の量及び漏れの有無を点検する。	1 D	
		③ 軸受油量の適否を点検する。	2 / M	
		④ 潤滑油冷却器の漏水の有無を点検する。	2 / M	
		⑤ 調速機の動作状況の良否を点検する。	2 / M	
	2. 配電盤	① 配電盤等の信号灯、表示灯類の点灯状態をランプチェック等により点検する。	2 / M	装置に搭載された盤を含む。
		② 非常用発電装置が始動及び自動運転待機状態にあることを確認する。	2 / M	装置に搭載された盤を含む。
		③ 絶縁抵抗を測定する。	1 Y	
		④ 接地抵抗を測定する。	1 Y	
	3. 始動用空気圧縮装置	① 充気された空気を圧力指示値により確認する。	1 W	
		② 空気槽内の水抜きを行う。	1 W	
		③ ベルト等の張り、損傷の有無を点検する。	1 W	
	4. 燃料タンク、燃料移送ポンプ等	① タンク、ポンプ及び配管の油漏れ、変形、損傷等の有無を点検する。	1 W	
		② 油量を点検する。	1 W	
	5. 冷却水タンク等	① タンク、機器及び配管の水漏れ、変形、損傷等の有無を点検する。	1 W	
		② 冷却水の水量等を点検する。	1 W	
		③ 冷却水槽内部の洗浄清掃を行う。	1 Y	本館地下冷却水槽のみ
	6. 換気装置	① 自然換気口の開口部の状況又は機械換気装置の運転が適正であることを手動運転により確認する。	2 / M	
		② 給・排気ファンが、自家発電装置の運転と連動して運転できることを確認する。	2 / M	

別添 巡視点検基準表 2 (電気設備)

区 分	点 検 項 目	点 検 内 容	周期	備 考
2. 非常用発電設備	7. 排気管、消音器	① 排気管等の過熱部周囲に可燃物が置かれていないことを確認する。	2/M	
		② 排気管等の支持金具の緩みの有無を点検する。	1 M	
	8. バルブ	各種バルブの開閉状態を確認する。	1 M	
	9. 試運転	① 試験スイッチを投入して試運転を行い、始動時間を確認する。	2/M	
		② 運転中、電圧計、周波数計等の計器の指示値が適正であることを確認する。	2/M	
		③ 運転中、振動、異音、異臭の有無を点検する。	2/M	
		④ 回転数、温度、圧力等を付属の各計器の指示値により始動前及び運転時に確認する。	2/M	
		⑤ 試運転終了後、スイッチ、ハンドル、バルブ等を自動始動側に切り替えて、運転待機状態にあることを確認する。	2/M	
3. 直流電源装置	1. 整流装置	① 表示灯類の点灯状態を確認する。	1 D	
		② 操作、切替スイッチ等の状態を点検する。	1 W	
		③ 充電電圧、電流の適否を点検する。	1 D	均等充電を行う (1 M)
	2. 蓄電池	① 蓄電池の損傷、液漏れ、汚損等の有無を点検する。	1 W	
		② 蓄電池の電解液面を点検し、最高・最低液面内にあることを確認する。	1 W	
		③ 蓄電池の総出力電圧を確認する。	1 W	
		④ 電解液の比重、液温を測定する。	1 M	
		⑤ 絶縁抵抗を測定する。	1 Y	
4. 交流無停電電源装置	1. 整流装置、逆変換装置	① 汚れ、損傷、過熱等の温度上昇、変形、異音、異臭、腐食等の有無を点検する。	1 W	
		② 各計器及びLCDディスプレイにより運転状態を確認する。	1 D	
		③ 表示灯類の点灯状態をランプチェック等により点検する。	1 M	

別添 巡視点検基準表 2 (電気設備)

区 分	点 検 項 目	点 検 内 容	周期	備 考
4. 交流無停電電源装置	2. 蓄電池	① 蓄電池の損傷、液漏れ、汚損等の有無を点検する。	1 W	
		② 蓄電池の電解液面を点検し、最高・最低液面内にあることを確認する。	1 W	
		③ 蓄電池の総出力電圧を確認する。	1 W	
		④ 電解液の比重、液温を測定する。	1 M	
		⑤ 絶縁抵抗を測定する。	1 Y	
5. 電灯・動力設備	1. 照明設備	① 共用部分の点灯状態の確認を行う。	1 W	
		② 照明器具の汚損、変形、錆等の有無を点検する。	2 M	
		③ 灯具、ポール等の破損、さび、腐食等の有無を点検する。	1 M	外灯のみ
	2. 分電盤、照明制御盤等	① 扉の開閉の良否及び施錠の有無を点検する。	1 D	
		② 汚損、損傷、変形、亀裂、塗装の剥離及びさびの有無を点検する。	1 D	
		③ 漏電遮断機のテストボタンにて動作の確認を行う。	1 Y	
		④ 各機器の異音、異臭、変形及び過熱の有無を点検する。	1 M	
		⑤ 点検時を除き非常用ブレーカーがONになっているか確認する。	1 M	
		⑥ スイッチの位置、ヒューズのゆるみを点検する。	1 M	
		⑦ 負荷のバランスを点検する。	1 M	
		⑧ 導電部の汚れ、異物の有無及び異音、異臭、変色及び過熱の有無を点検する。	1 M	
		⑨ 内外部の清掃を行う。	6 M	
		⑩ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	
		⑪ 接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	単独接地極の場合に限る。
	3. 制御盤、操作盤等	① 扉の開閉の良否及び施錠の有無を点検する。	1 W	
		② 汚損、損傷、変形、亀裂、塗装の剥離及びさびの有無を点検する。	1 W	
		③ 表示灯等により動作表示状態の確認を行う。	1 D	
		④ 漏電遮断器のテストボタンにて動作の確認を行う。	1 Y	
		⑤ 各機器の異音、異臭、変形及び過熱の有無を点検する。	1 M	

別添 巡視点検基準表 2 (電気設備)

区 分	点 検 項 目	点 検 内 容	周期	備 考
5. 電灯・動力設備	3. 制御盤、操作盤等	⑥ スイッチの位置、ヒューズのゆるみを点検する。	1 M	
		⑦ 制御回路のシステム運転状態及び警報装置の動作確認を行う。	1 Y	
		⑧ 導電部の汚れ、異物の有無及び異音、異臭、変色及び過熱の有無を点検する。	1 M	
		⑨ 内外部の清掃を行う。	6 M	
		⑩ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	
		⑪ 接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	単独接地極の場合に限る。
	4. 幹線			
		① ケーブル被覆材、支持材、端子部の損傷、腐食、過熱等、異常の有無を点検する。	1 Y	
		② ケーブルラック及び配管の変形、損傷、腐食等の有無を点検する。	1 Y	
		③ 防火区画貫通処理部の亀裂、欠落等の有無を点検する。	1 Y	
		④ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1 Y	
6. 構内配電線路・通信線路	1. 構内配電線路・通信線路	① 架空線・引込線及びちょう架線と植物との離隔距離及びたるみ、損傷等の有無を点検する。	1 M	
		② 電柱、支持物等の損傷、傾斜、腐朽、脱落等の有無を点検する。	1 M	
		③ 引き込みケーブル及び端末部の損傷、汚損、コンパウンド漏れ等の有無を点検する。	1 M	
		④ マンホール及びハンドホールの蓋の損傷の有無を点検する。	1 M	
7. 情報・通信設備	1. テレビ共聴設備	① アンテナ・マスト、支持部材、支持ボルト等の損傷、劣化、さび等の有無を点検する。	1 M	
		② 機器及び機器収納箱の取付状況の良否を点検する。	1 Y	
	2. PHS設備	アンテナの取り付け状況、破損の有無を点検する。	1 M	
	3. 時計設備	① 親時計と子時計の時間誤差の有無を確認する。	1 M	
		② 子時計の取付状況及び破損の有無を点検する。	1 M	

別添 巡視点検基準表 2 (電気設備)

区 分	点 検 項 目	点 検 内 容	周期	備 考
7. 情報・通信設備	4. 放送設備	① 放送設備の音量、明瞭度の確認を行う。	1 M	
		② 機器外面、ファン等の汚れ及び埃の有無を点検する。	1 Y	
	5. 構内情報通信網設備	① ネットワーク盤、HUB等の汚れ及び埃の有無を点検する。	1 Y	
		② ネットワーク盤、HUB等の取付状態、電源供給の良否を確認する。	1 Y	
8. 防犯設備	1. 監視カメラ設備	監視カメラの取付状態、電源供給の良否を確認する。	1 M	
	2. 入退室管理装置	① 電気錠の作動状態の良否を点検する。	1 M	
		② 操作パネルの破損の有無を点検する。	1 M	
9. 避雷設備	1. 避雷設備	① 突針支持管の取り付け状態を点検する。	1 M	
		② 突針等の支持管の固定状態を点検する。	1 M	
		③ 棟上げ導体の取付け状態及び損傷等の有無を点検する。	1 M	
		④ 接地抵抗を測定する。	随時	避雷した時は必ず点検する

別添 巡視点検基準表 5 (防災設備)

区 分	点 検 項 目	点 検 内 容	周期	備 考	
1. 消防用設備等	1. 自動火災報知設備	① 感知器、発信機の取付状態、破損、変形及び腐食の有無を点検する。	1 M	各設備について、操作障害、散水障害、視認障害等の有無を確認し、障害物を除去する。	
		② 信号回路の異常の有無を確認する。	1 D		
		③ 表示灯類をランプチェックで確認する。	1 D		
		④ 受信機のスイッチ類設定位置の適否を確認する。	1 D		
	2. 消火設備	a. スプリンクラー屋内消火設備	① 加圧ポンプ圧力計・電流計の指示値を確認する。	1 W	
			② 加圧ポンプ、タンクの損傷、漏水等の有無を点検する。	1 W	
			③ アラーム弁の一次、二次圧力計の指示値を確認する。	1 W	
			④ 各弁類の開閉位置が正常か確認する。	1 W	
			⑤ 消火栓・補助散水栓の損傷等の有無を確認する。	1 M	
			⑥ S Pヘッドの破損、変形の有無を確認する。	1 M	
			⑦ 送水口の損傷、漏水の有無を確認する。	1 M	
			⑧ 防火水槽の異常の有無を点検し水の入替を行う。	6 M	
		b. ハロン・CO2・ダクト消火設備	① ボンベ室の異常の有無を確認する。	1 W	ハロン・CO2消火設備のみ
			② 起動装置の破損、変形の有無を確認する。	1 W	
			③ 表示灯の破損、変形の有無を確認する。	1 W	
		c. 消火器	① 設置位置の確認及び損傷の有無を確認する。	1 M	
	3. 避難誘導設備	a. 誘導灯	① 器具の破損、変形の有無を点検する。	1 M	
			② ランプの汚れ、劣化等の有無を点検する。	1 M	
			③ バッテリーの良否を確認する。	1 M	
		b. 避難器具	① 器具の設置状態、破損、変形の有無を確認する。	1 M	
2. 建築基準法関係防災設備	1. 非常用照明装置	① 照明器具の破損、変形、腐食の有無を点検する。	3 M	電源別置型は除く	
		② ランプの汚れ、劣化等の有無を点検する。	3 M		
		③ バッテリーの良否を確認する。	3 M		

別添 巡視点検基準表 5 (防災設備)

区 分	点 検 項 目	点 検 内 容	周期	備 考
2. 建築基準 法関係防 災設備	2. 防火戸・ダン パー等	① 感知器の変形、損傷、脱落、腐食等の有無を確認する。	1 M	
		② 防火戸・ダンパー・防火シャッター等が規定の装置により正常な状態 で セットされていることを確認する。	1 M	
		③ 防火戸・排煙窓等建具の作動状態の良否及び作動後の閉鎖状態の良否 を 確認する。	1 M	

別添 巡視点検基準表 6 (医療ガス設備)

区 分	点 検 項 目	点 検 内 容	周期	備 考
1. マニホー ルド室	1. ボンベ、自動 切替機	① ガス圧力の良否を確認する。	2 / D	
		② 各部の漏洩の有無を確認する。	2 / D	
		③ 変形、損傷、脱落、腐食等の有無を確認する。	1 M	
	2. コンプレッサ ー、吸引装置、 ドライヤー	① 各機器の異音、異常振動等の有無を点検する。	1 D	
		② 電動機に異常発熱がないことを確認する。	1 D	
		③ 圧力計、電流計等計器類の指示値を確認する。	1 D	
		④ 露点温度の良否を確認する。	1 D	
	3. 配管等	① 配管、弁類の損傷、腐食、漏洩の有無を点検する。	1 D	
2. 液酸タン ク	1. タンク	① 変形、損傷、腐食等の有無を確認する。	2 / D	
		② 貯槽液面、圧力、使用状態の良否を確認する。	2 / D	
	2. 蒸発器	① 変形、損傷、腐食等の有無を確認する。	2 / D	
		② 異常な霜付きの有無を確認する。	2 / D	
	3. 配管等	① 配管、弁類の損傷、腐食、漏洩の有無を点検する。	1 D	
		② 周辺の火気及び防護柵の破損の有無を点検する。	1 D	

別添 巡視点検基準表 7 (中央監視設備)

区 分	点 検 項 目	点 検 内 容	周期	備 考
1. 監視制御機器	1. 外観	① 腐食、汚れ等の有無を点検する。	1 D	
		② 異音、異臭、異常振動等の有無を点検する。	1 D	
	2. 装置、機器等	① ディスプレイ、キーボード等の画面の異常、異音、異臭、異色、異熱等の有無を点検し、作動の確認を行う。	1 D	
		② プリンタの用紙量・印字確認、オンラインスイッチ等の点検を行う。	1 D	
2. 無停電電源装置	1. 外観	① 汚れ、損傷、過熱等の温度上昇及び変形、異音、異臭、腐食等の有無を確認する。	1 W	
		② 表示灯類の点灯状態及びディスプレイの異常の有無を確認する。	1 W	
	2. 蓄電池	① 蓄電池の損傷、液漏れ、汚損等の有無を点検する。	1 W	
		② 変形、損傷、腐食等の有無を確認する。	1 W	

別添 巡視点検基準表 8 (昇降機・搬送設備)

区 分	点 検 項 目	点 検 内 容	周期	備 考
1. 昇降機設備	1. エレベーター	① 照明及び位置表示器の異常の有無を点検する。	1 D	
		② 戸の開閉時における異音及び異常振動の有無を点検する。	1 D	
2. 搬送設備	1. ダムウェーター	① 戸の開閉時における異音及び異常振動の有無を点検する。	1 W	自動ダムウェーターのみ
		② 搬出入装置の作動状況を確認する。	1 W	
	2. ケースコンベア	① 各ステーションの損傷等の有無を確認する。	1 W	
		② メインリフトの動作状況を確認する。	1 W	
		③ 試運転を行いシステム運転状態の良否を確認する。	随時	
	3. エアシューター	① 各ステーションの損傷等の有無を確認する。	1 W	
		② 動力装置の異音、異臭、異常振動の有無を点検する。	1 W	
	4. 自動搬送設備	① 充電状態の良否の確認する。	1 W	
		② 搬送車の走行状態の良否を確認する。	1 W	

3 階南病棟循環式浴 槽管理マニュアル

箕面市立病院

令和2年11月1日改訂

3階南病棟循環式浴槽管理マニュアル

I. 管理基準

1. 設 備

管 理 項 目	実 施 回 数	実 施 者
①浴室		
水栓等の保守点検	1回／日	施設管理委託業者
浴槽水の消毒	1回／日	〃
浴槽水の入替え	1回／週	〃
浴槽の清掃	1回／週	施設清掃委託業者
遊離残留塩素濃度測定	3回／日(午前1回・午後2回)	施設管理委託業者
②浴槽水等の水質		
原水の水質検査	2回／年	施設管理委託業者
原湯の水質検査	2回／年	中央検査部・施設管理委託業者
浴槽水の水質検査	2回／年(6回／年 ※1)	〃
③給湯設備		
施設管理委託仕様書による(貯湯槽湯温は60℃以上)		施設管理委託業者
④給水設備(原水)		
施設管理委託仕様書による		施設管理委託業者
⑤浴槽濾過循環設備		
濾過装置逆洗	1回／日	施設管理委託業者
濾過装置洗浄・消毒	2回／年	〃
濾過タンク開放点検	1回／年	施設管理委託業者(※2)
集毛器清掃	1回／日	施設管理委託業者
薬液残量確認・補充	1回／日	〃
⑥その他		
①～⑤に記載無き事項は施設管理・施設清掃・その他各機器保守点検委託仕様書による		

※1 検査項目のうちレジオネラ属菌のみ測定

※2 濾材の交換及び内部洗浄が必要な場合、その費用は別途とする

2. 水 質

①水質基準

項 目	基 準 値	
	種 別	
	浴 槽 水	原 湯
色度	—	5度以下
濁度	5度以下	2度以下
PH値	—	5. 8以上8. 6以下
過マンガン酸カリウム消費量	25mg／ℓ以下	10mg／ℓ以下
大腸菌群	1個／ml以下	検出されないこと
レジオネラ属菌	検出されないこと(10CFU/100ml未満)	検出されないこと(10CFU/100ml未満)

※ 公衆浴場における衛生等管理要領等について(平成12年12月15日生衛発第1811号)「公衆浴場等における水質基準等に関する指針」及び「旅館業における衛生等管理要領」に準じる。

②検査方法

ア 原湯

●レジオネラ属菌以外

「水質基準に関する省令」(平成15年厚生省令第101号)で定める方法による。また、過マンガン酸カリウム消費量の検査方法は、同令による廃止前の水質基準に関する省令(平成4年厚生省令第69号)で定める方法による。

●レジオネラ属菌

冷却遠心濃縮法又は濾過濃縮法のいずれかによる。具体的手順は、「公衆浴場における浴槽水等のレジオネラ属菌検査方法について」(令和元年9月19日薬生衛発0919第1号厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生課長通知)を参照すること。

イ 浴槽水

●大腸菌群以外

アの検査方法による。

●大腸菌群

「下水の水質の検定方法等に関する省令」(昭和37年厚生省令・建設省令第1号)別表第1(第6条)の大腸菌群数の検定方法による。なお、試料は希釈せずに使用すること。

③遊離残留塩素濃度

浴槽水の遊離残留塩素濃度は、入浴時0.4mg/ℓ以上、1mg/ℓ以下(※)とする。

※ 公衆浴場における衛生等管理要領等について(平成12年12月15日生衛発第1811号)によると浴槽水中の遊離残留塩素濃度は0.2mg/ℓないし、0.4mg/ℓを保ち、かつ最大1.0mg/ℓを超えないように努めること」とされているが、大阪府の指導に基づき、下限を0.4mg/ℓ以上となるよう管理値を定める。

Ⅱ. 設備運転方法

1. 濾過循環装置運転[毎日]

- | | |
|---------------|---|
| ①濾過器・薬注装置運転時間 | 0時～23時
(タイマーによる自動運転とする。ただし、毎週土曜日9時～12時は浴槽清掃・換水のため手動停止) |
| ②濾材洗浄時間 | 23時15分～23時30分(うち洗浄時間は2分30秒)
(タイマーによる自動運転とする) |
| ③水位制御 | 濾過器運転中時間制御とする。 |
| ④温度制御 | 〃 |
| ⑤集毛器清掃 | 循環ポンプを手動停止後、蓋を開放し内部の点検清掃を行う。 |

2. 浴槽水・濾過装置消毒[毎日]

- | | |
|---------|---|
| ①使用薬剤 | 次亜塩素酸ナトリウム(規格:有効塩素12%・食品添加物) |
| ②薬剤補充時間 | 9時(薬液タンク内の残量が10ℓを下回れば補充する) |
| ③薬剤投入量※ | 濾過器運転中:0.09ml/min
(ポンプストローク:3、注入1分、休止12分サイクル)
浴槽水換水時:浴槽内に20mlを直接投入する。 |
| ④消毒方法 | 濾過器付属の薬注装置により薬剤を連続投入し、消毒を行う。 |

3. 水栓等の点検[毎日]

- | | |
|-------|---------------------------|
| ①点検方法 | 目視
(外観及び機能に異常がないか確認する) |
|-------|---------------------------|

4. 残留塩素濃度測定[毎日]

- ①採水・測定時間 9時・12時・18時
(使用状況により時間が前後することは構わない。ただし、測定間隔は3時間以上6時間未満とすること)

5. 浴槽清掃・換水[毎週土曜日] (別紙1参照)

- ①清掃・換水時間 9時～12時
②使用洗浄剤 弱酸性洗剤
③清掃方法 手洗い
(洗浄剤を使用しブラシで浴槽内をすみずみまで洗浄する。なお、洗浄後は原水(上水)で洗浄剤を完全に洗い流す)

6. 濾過装置洗浄・消毒[6月・12月(6ヶ月毎)] (別紙2参照)

- ①使用薬剤 過酸化水素水(規格:過酸化水素35%)
②薬剤投入方法 浴槽内に直接投入する。
③薬剤投入量 160ℓ(投入初期濃度 約30g/ℓ)
④洗浄方法
a. 浴槽水を水深約16cm(水量約1,800ℓ)になるまで排水する。
b. 薬剤を投入して濾過器を1時間運転し薬剤環流により濾過装置内の洗浄・消毒を行う。
c. 30分～1時間滞留放置した後排水する。なお、排水の際は多量の水で希釈するか、アルカリ性の中和剤で中和しながら排水する。
d. 水洗いを2～3回行い残留成分を除去する。
e. 水位計についても分解のうえ、弱酸性洗剤を使用しすみずみまで洗浄する。洗浄後は原水(上水)で洗浄剤を完全に洗い流す。

※ 洗浄剤の取扱い時には、ゴム手袋、保護メガネを着用し、直接皮膚に触れないようにするほか、製造・販売者が定める使用上の注意に従うこと。

※ 洗浄・消毒後は5. により浴槽の清掃を行う。また、製造・販売者指定の使用用法が定められている場合はそれに従う。

7. 濾過器点検(1年毎)

- ①点検方法 濾過タンクの開放点検を行う。
(本体内部及び濾材の状態等を点検し、必要に応じて濾材の交換及び内部洗浄を行う)

※薬剤投入量の決定について

①次亜塩素酸ナトリウム

公衆浴場における衛生等管理要領(令和元年9月19日生食発第0919第8号)によると、浴槽水中の残留塩素濃度を1日2時間以上0.2～0.4mg/ℓに保つことが推奨されているが、大阪府の指導に基づき、常時0.4mg/ℓ以上となるよう投入量を定める。

②過酸化水素水

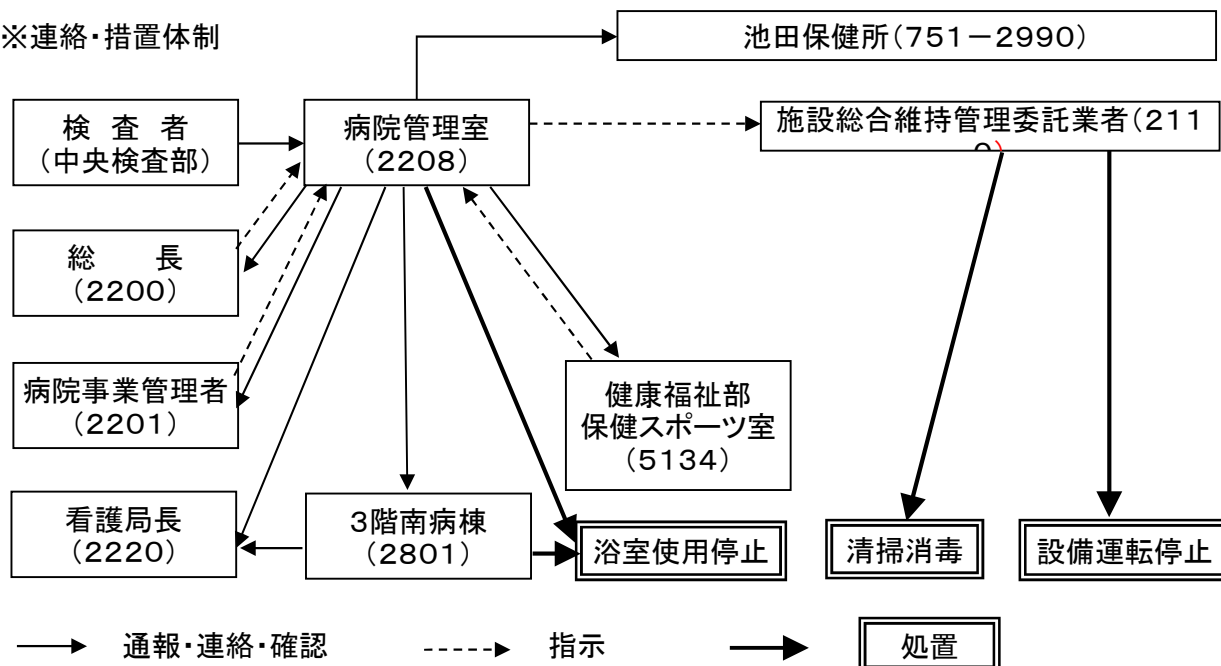
循環式浴槽におけるレジオネラ症防止対策マニュアルについて(平成13年9月11日健衛発第95号)によると、バイオフィルムの除去・消毒には過酸化水素水を2～3%の濃度で使用することが有効とされているので、設定濃度は上限値を採用し3%とする。

Ⅲ. 緊急時の措置

1. レジオネラ属菌が検出された場合

- ①直ちに浴室(浴槽)の使用を中止し、浴槽・濾過循環設備等施設の清掃・消毒等の対策を講じる。
- ②対策実施後は検出菌数が検出限界以下であることを確認する。

※連絡・措置体制

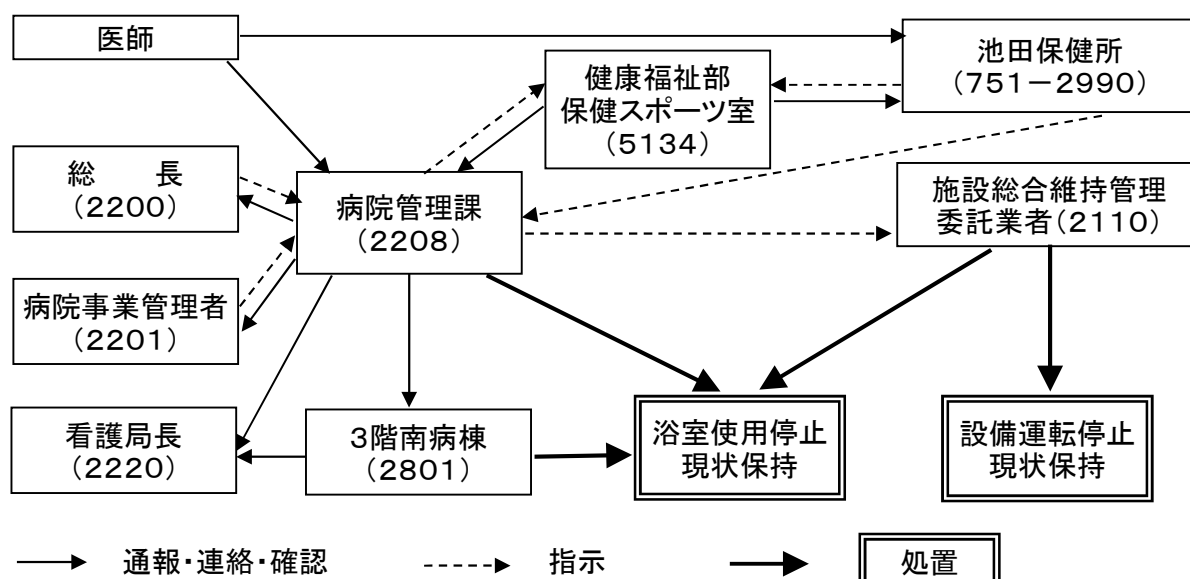


2. 3階南病棟循環式浴槽利用者からレジオネラ症の発生やその疑いがあった場合

院内感染防止対策マニュアルに従い池田保健所に通報し指示に従うほか、下記の措置を講じる。

- ①浴槽・濾過循環設備等施設の現状を保持する。
- ②浴室(浴槽)の使用を中止する。
- ③保健所等の指示を受けるまで浴槽水の消毒を行わず現状を保持する。

※連絡・措置体制



IV. 資料

1. 関係法令関係

①循環式浴槽管理関係

◇公衆浴場における衛生等管理要領等について(平成12年12月15日生衛発第1811号)

◇公衆浴場における衛生等管理要領等の改正について(令和元年9月19日生食発第0919第8号)

「公衆浴場等における水質基準等に関する指針」

「公衆浴場における衛生等管理要領」

「旅館業における衛生等管理要領」

◇循環式浴槽におけるレジオネラ防止対策マニュアルについて(平成13年9月11日健衛発第95号)

◇循環式浴槽におけるレジオネラ防止対策マニュアルの改正について(令和元年12月17日薬生衛
発1217第1号)

「循環式浴槽におけるレジオネラ防止対策マニュアル」

◇レジオネラ症を予防するために必要な措置に関する技術上の指針(平成15年7月25日厚生労働
省告示第264号)

②給水設備(原水)管理関係

◇水道法第34条、同施行規則第55条、第56条

2. 設備概要

方式	連日使用型循環式浴槽
浴槽容量	浴槽のみ 4. 61 m^3 (水深45cmの場合) 浴槽(4.61)＋循環配管(0.04)＋濾過器等(0.14)の計 4. 79 m^3
濾過水量	13 m^3/h (濾過ポンプ容量13. 2 m^3/h)
濾過能力	2. 8回/h
濾過方式	砂式
濾材	珪砂
薬注装置	薬液タンク容量 50 l 能力 30 ml/min
原水給水	上水道(簡易専用水道)による給水
原湯給湯	上水道を貯湯槽にて加湿貯留し給湯

全面改訂※	平成14年12月25日
改訂	平成25年4月1日
	平成27年8月1日
	平成27年10月23日
	平成30年6月1日
	令和2年11月1日

